

# TS出来形検査ツール 操作手順書

図面と設計データのチェック、計測データの  
確認を行う操作をご紹介します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である  
場合があります。ご了承ください。



## 図面と設計データのチェック

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 1. TS出来形検査ツールの起動                    | 2  |
| 2. TS出来形データの読み込み                    | 3  |
| 2-1 TS出来形データを読み込む                   | 3  |
| 3. チェックに必要な資料の関連付け                  | 4  |
| 3-1 基準点及び工事基準点のチェックに必要な資料を<br>関連付ける | 4  |
| 3-2 平面線形のチェックに必要な資料を関連付ける           | 5  |
| 3-3 縦断線形のチェックに必要な資料を関連付ける           | 7  |
| 3-4 出来形横断面形状のチェックに必要な資料を関連付ける       | 8  |
| 4. 基準点及び工事基準点のチェック                  | 9  |
| 4-1 基準点及び工事基準点をチェックする               | 9  |
| 5. 平面線形のチェック                        | 10 |
| 5-1 平面線形をチェックする                     | 10 |
| 6. 縦断線形のチェック                        | 17 |
| 6-1 縦断線形をチェックする                     | 17 |
| 7. 出来形横断面形状のチェック                    | 20 |
| 7-1 出来形横断面形状をチェックする                 | 20 |
| 8. 3D形状でのデータチェック                    | 24 |
| 8-1 3D形状でデータの状態をチェックする              | 24 |
| 8-2 3Dの画像を出力する                      | 25 |
| 9. チェックシートの印刷                       | 26 |
| 9-1 ユーザー情報を設定する                     | 26 |
| 9-2 チェックシートをプレビューする                 | 27 |
| 9-3 チェックシートを印刷する                    | 28 |
| 9-4 TS出来形検査ツールを終了する                 | 29 |

|                            |    |
|----------------------------|----|
| 1. 計測データの確認                | 32 |
| 1-1 出来形表で、各計測データを種別ごとに確認する | 32 |
| 2. 3D形状でのデータチェック           | 36 |
| 2-1 3D形状でデータの状態をチェックする     | 36 |
| 2-2 3Dの画像を出力する             | 37 |



# 図面と設計データの チェック



TS出来形検査ツールを起動して、  
図面と設計データのチェックを行い、  
チェックシートを作成してみましょう。

- 1 TS出来形検査ツールの起動
- 2 TS出来形データの読み込み
- 3 チェックに必要な資料の関連付け
- 4 基準点及び工事基準点のチェック
- 5 平面線形のチェック
- 6 縦断線形のチェック
- 7 出来形横断面形状のチェック
- 8 3D形状でのデータチェック
- 9 チェックシートの印刷

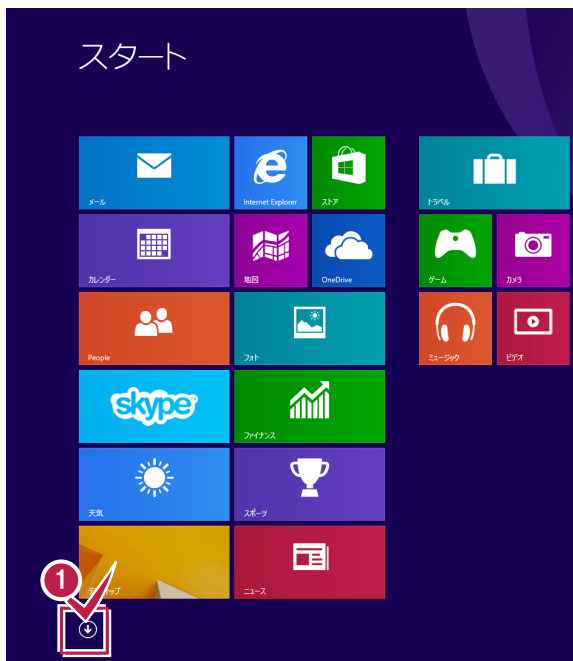
# 1 TS出来形検査ツールの起動

TS 出来形検査ツールを起動します。

## 1-1 [TS出来形検査ツール]を起動する

本書では、Windows8.1 を使用して解説しています。

### ■ スタート画面から[TS出来形検査ツール]を起動する



1 スタート画面左下の↓（下矢印）をクリックして、「アプリ画面」に切り換えます。

2 [FukuiComputerApplication]グループの、[TS出来形検査ツール]をクリックしてプログラムを起動します。



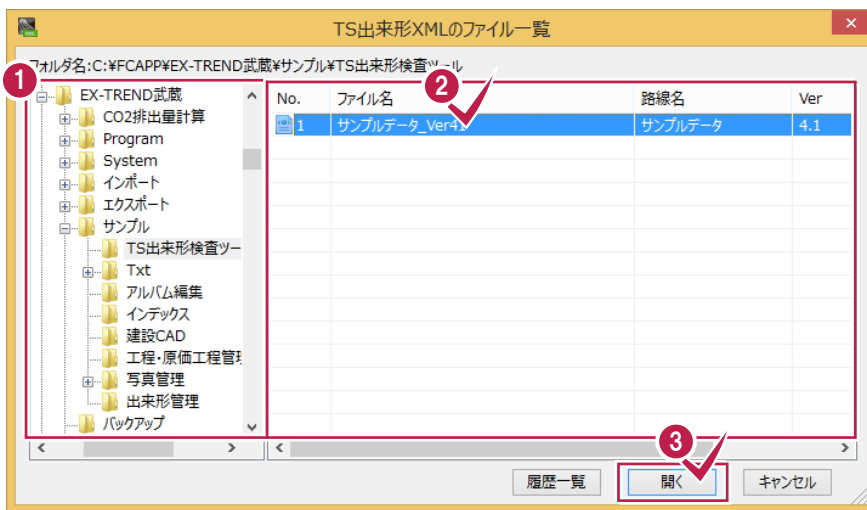
スタート画面に戻るには、左下の↑（上矢印）をクリックします。

# 2 TS出来形データの読み込み

検査する TS 出来形データファイル(\*.xml)を選択して、読み込みます。

## 2-1 TS出来形データを読み込む

本書では、「C:\¥FCAPP¥EX-TREND武蔵¥サンプル¥TS出来形検査ツール」フォルダー内の「サンプルデータ\_Ver41.xml」を読み込みます。



- 1 TS出来形データの保存先を指定します。
- 2 TS出来形データをクリックします。
- 3 「開く」をクリックします。

TS出来形データが読み込まれて、「基本設計データのチェックシート」画面が表示されます。

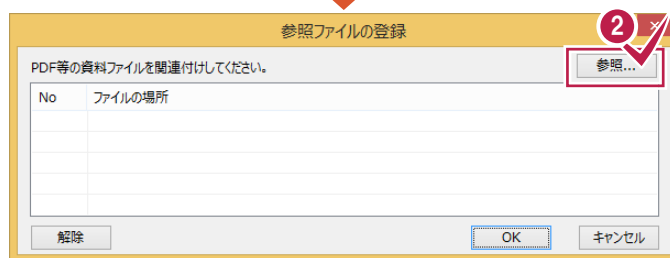


# 3 チェックに必要な資料の関連付け

図面や計算書などのチェックに必要な資料を関連付けます。

## 3-1 基準点及び工事基準点のチェックに必要な資料を関連付ける

1) 基準点及び工事基準点のチェックに必要な資料を関連付けます。



1 [1] 基準点及び工事基準点] の[参照]をクリックします。

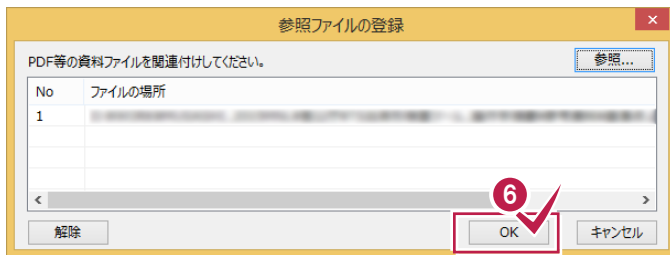
2 [参照]をクリックします。

3 資料の保存先を指定します。

4 資料をクリックします。

5 [開く]をクリックします。





6 [OK]をクリックします。

資料が関連付けられます。  
関連付けられた資料は[閲覧]で  
開くことができます。  
[参照]で関連付ける資料を追加  
することもできます。



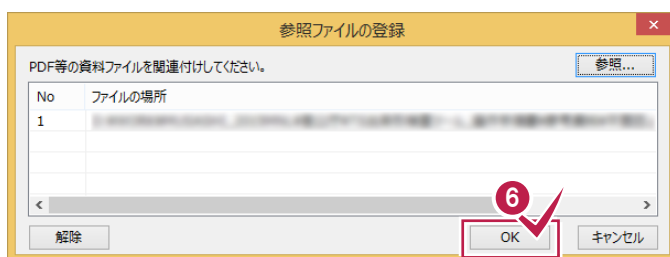
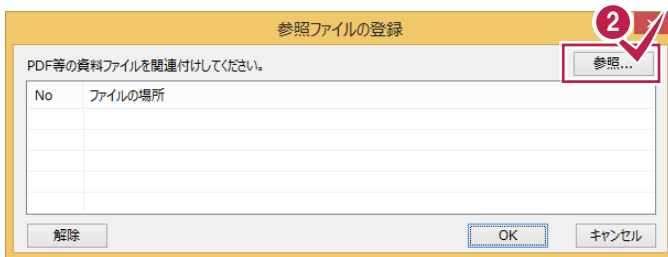
## 3-2 平面線形のチェックに必要な資料を関連付ける

2) 平面線形のチェックに必要な資料を関連付けます。



1 [2]平面線形]の[参照]をクリックします。

### 3. チェックに必要な資料の関連付け



2 [参照]をクリックします。

3 資料の保存先を指定します。

4 資料をクリックします。

5 [開く]をクリックします。

6 [OK]をクリックします。

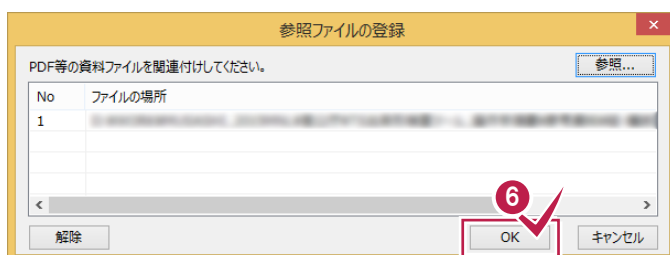
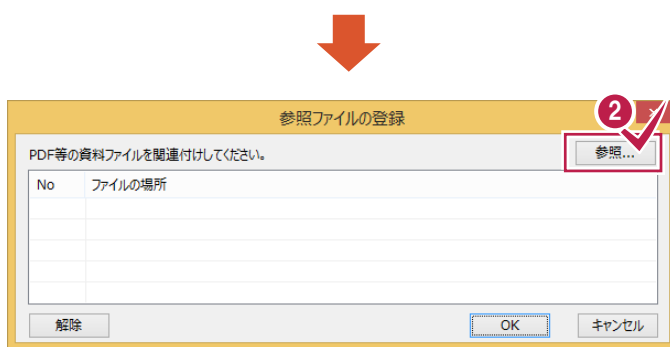
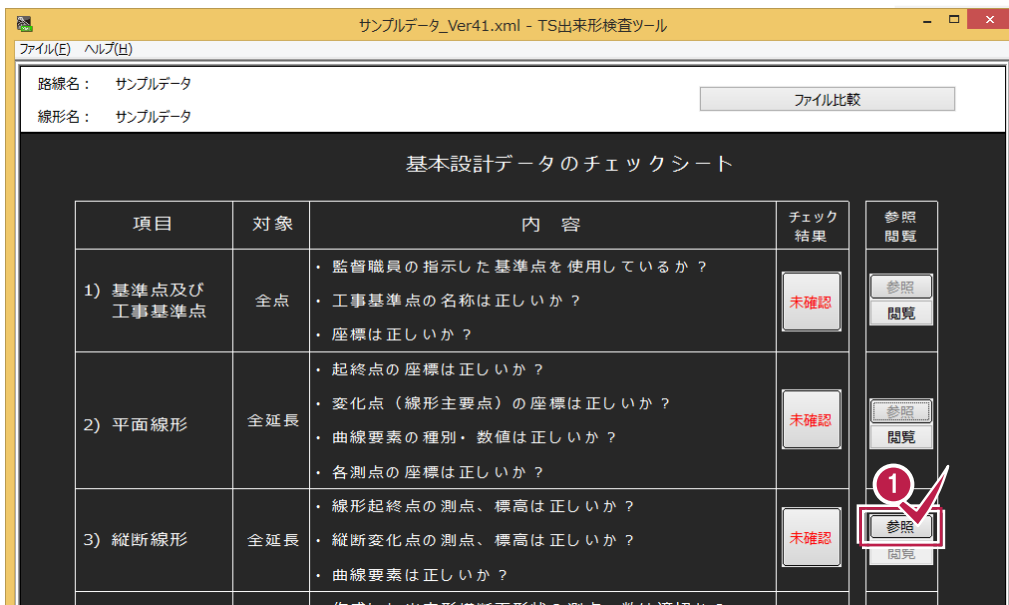
| 項目                | 対象  | 内容                                                                                                                                          | チェック結果 | 参照<br>閲覧 |
|-------------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------|
| 1) 基準点及び<br>工事基準点 | 全点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>監督職員の指示した基準点を使用しているか？</li> <li>工事基準点の名称は正しいか？</li> <li>座標は正しいか？</li> </ul>                           | 未確認    | 参照<br>閲覧 |
| 2) 平面線形           | 全延長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>起終点の座標は正しいか？</li> <li>変化点（線形主要点）の座標は正しいか？</li> <li>曲線要素の種類・数値は正しいか？</li> <li>各測点の座標は正しいか？</li> </ul> | 未確認    | 参照<br>閲覧 |
| 3) 縦断線形           | 全延長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>線形起終点の測点、標高は正しいか？</li> <li>縦断変化点の測点、標高は正しいか？</li> <li>曲線要素は正しいか？</li> </ul>                          | 未確認    | 参照<br>閲覧 |
| 4) 出来形<br>横断面形状   | 全延長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か？</li> <li>基準高、幅、法長は正しいか？</li> <li>出来形計測対象点の記号が正しく付与できているか？</li> </ul>          | 未確認    | 参照<br>閲覧 |

資料が関連付けられます。  
関連付けられた資料は[閲覧]で開くことができます。  
[参照]で関連付ける資料を追加することもできます。

## 3-3

## 縦断線形のチェックに必要な資料を関連付ける

3) 縦断線形のチェックに必要な資料を関連付けます。



1 [3] 縦断線形]の[参照]をクリックします。

2 [参照]をクリックします。

3 資料の保存先を指定します。

4 資料をクリックします。

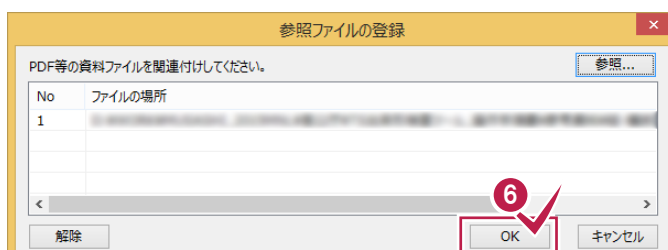
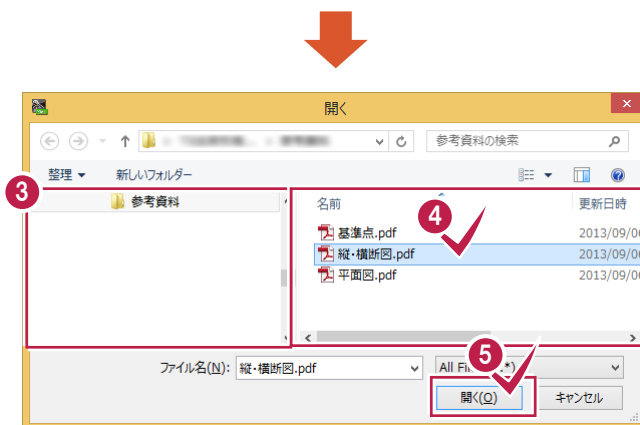
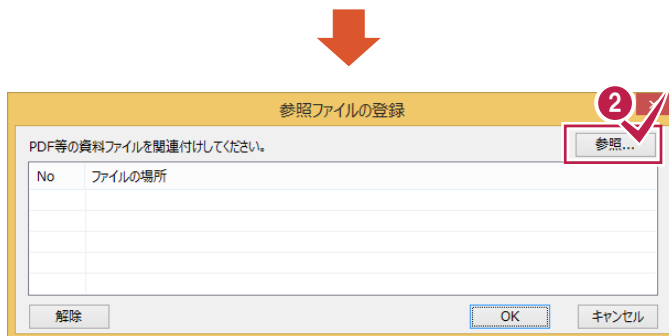
5 [開く]をクリックします。

6 [OK]をクリックします。

# 3-4

## 出来形横断面形状のチェックに必要な資料を関連付ける

4) 出来形横断面形状のチェックに必要な資料を関連付けます。



1 [4] 出来形横断面形状]の [参照]をクリックします。

2 [参照]をクリックします。

3 資料の保存先を指定します。

4 資料をクリックします。

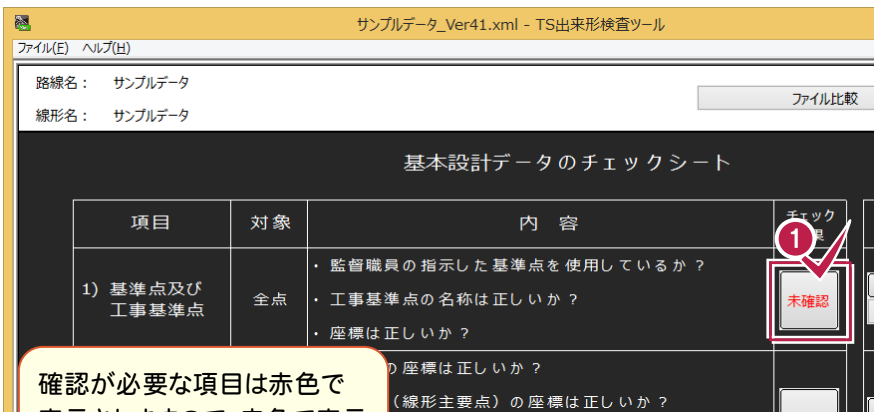
5 [開く]をクリックします。

6 [OK]をクリックします。

# 4 基準点及び工事基準点のチェック

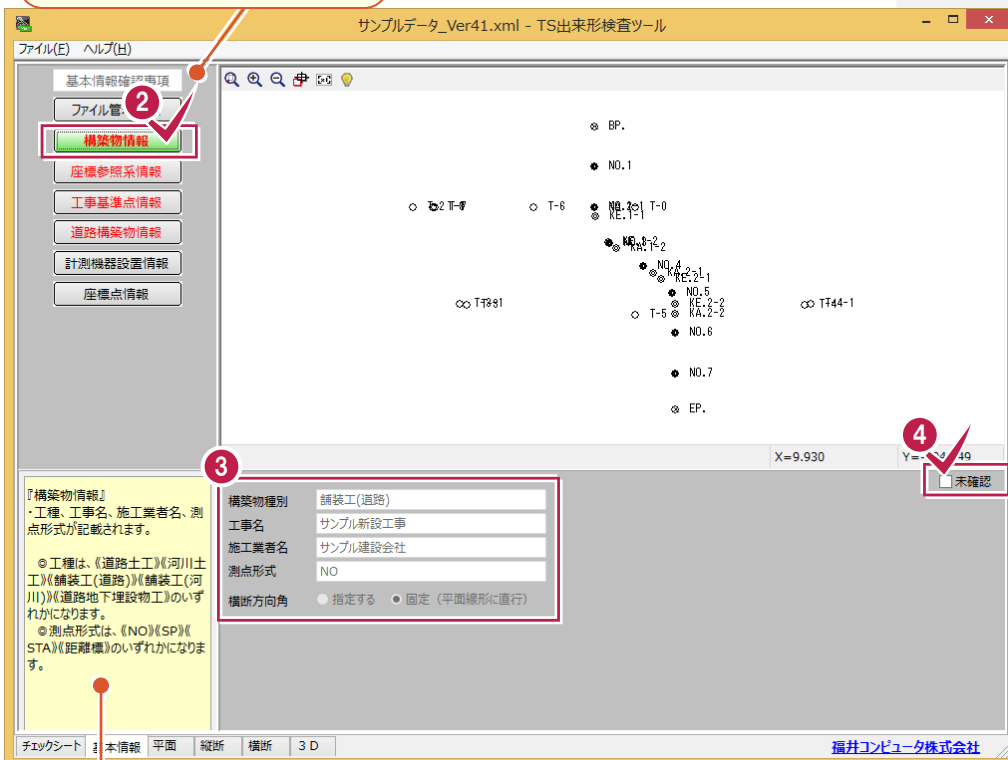
基準点及び工事基準点をチェックします。

## 4-1 基準点及び工事基準点をチェックする



- 1 [1] 基準点及び工事基準点の[未確認]をクリックします。

確認が必要な項目は赤色で表示されますので、赤色で表示されているボタンをクリックして、確認を行います。



- 4 確認を終了したら[未確認]のチェックをクリックします。

チェック項目の内容が表示されますので、参照しながらチェックを行います。

- 2 [構築物情報]をクリックします。

- 3 構築物の情報を確認します。

- 4 確認を終了したら[未確認]のチェックをクリックします。

## 4. 基準点及び工事基準点のチェック

サンプルデータ\_Ver41.xml - TS出力形検査ツール

基本情報確認事項

ファイル管理情報

**構築物情報**

座標参照系情報

工事基準点情報

道路構築物情報

計測機器設置情報

座標点情報

構築物種別: 舗装工(道路)

工事名: サンプル新設工事

施工業者名: サンプル建設会社

測点形式: NO

横断方向角:  指定する  固定(平面線形に直行)

X=9.930 Y=-204.749

確認済

『構築物情報』  
・工程、工事名、施工業者名、測点形式が記載されます。  
◎工程は、《道路土工》《河川土工》《舗装工(道路)》《舗装工(河川)》《道路地下埋設物工》のいずれかになります。  
◎測点形式は、《NO》《SP》《STA》《距離標》のいずれかになります。

[未確認]のチェックをオンにすると、[確認済]になります。



サンプルデータ\_Ver41.xml - TS出力形検査ツール

基本情報確認事項

ファイル管理情報

構築物情報

**座標参照系情報**

工事基準点情報

道路構築物情報

計測機器設置情報

座標点情報

座標系名称: CRS1

測地原子:  日本測地系2000  日本測地系

日本測地系2011

鉛直原子: 基準面名: T.P

TPとの標高差: 0.0000

水平座標系: 平面直角座標系第1系

鉛直座標系:  鉛直原子となる平均海面からの高さ  橋脚体高

座標系注意点:

X=-64.507 Y=-204.749

未確認

『座標参照系情報』  
・測地原子、鉛直原子、水平座標系、鉛直座標系、座標系注意点が記載されます。  
◎測地原子は、《日本測地系2000/2011/なし》、鉛直原子は、《主要河川の基準名及びT.Pとの標高差》になります。  
◎水平座標系は、《平面直角座標系第1~XIX系》《測地座標系(緯度・経度)》のいずれかになります。

5 [座標参照系情報]をクリックします。

6 座標参照系情報を確認します。

7 確認を終了したら[未確認]のチェックをクリックします。

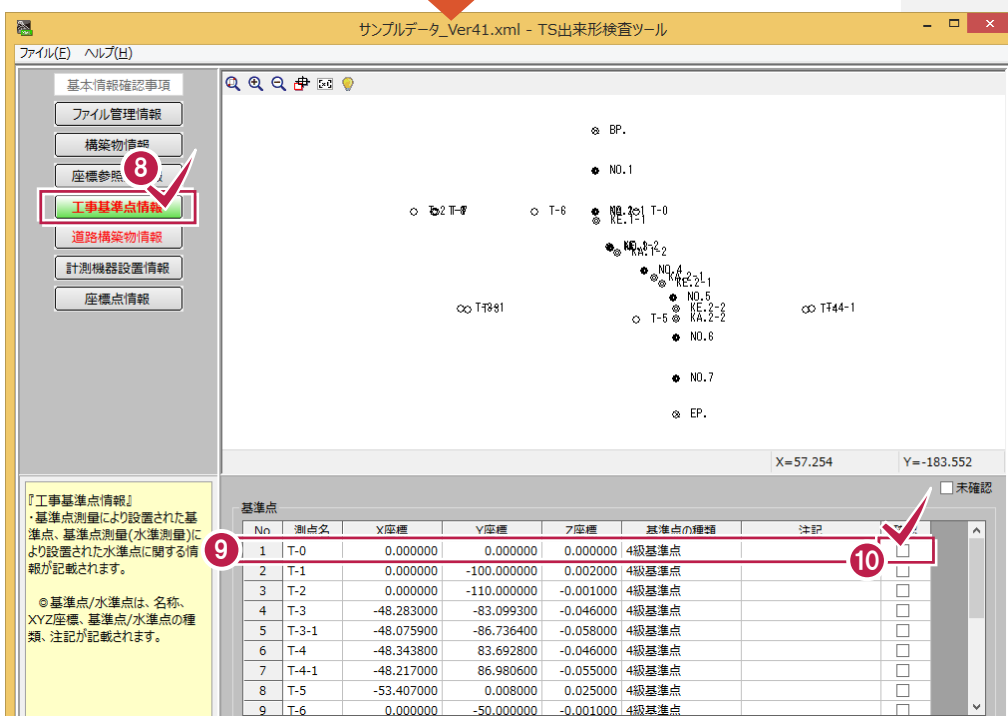
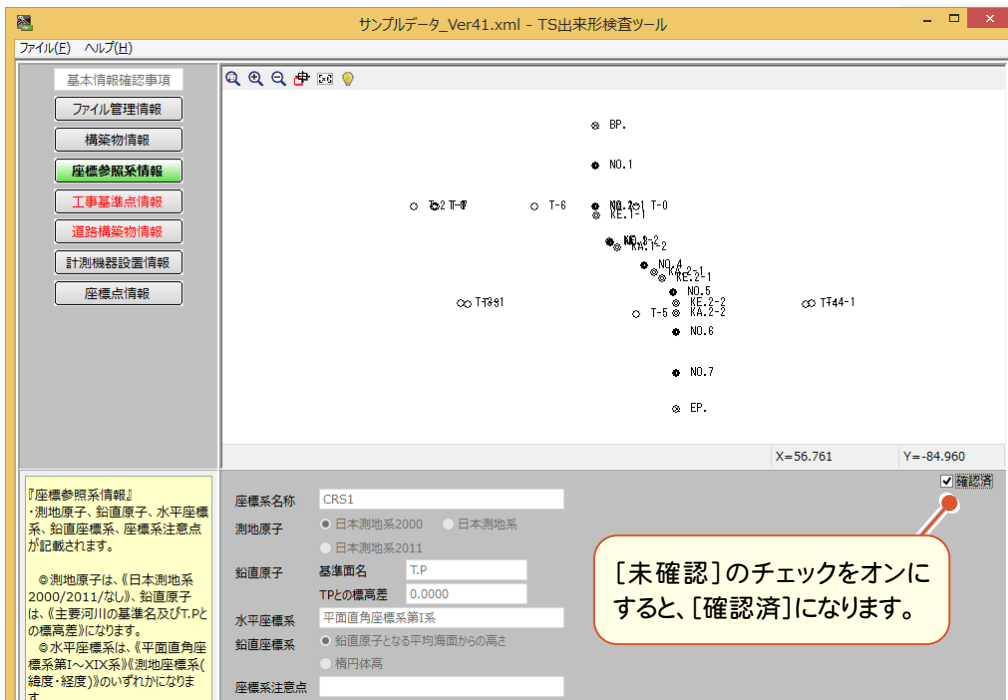
チェックシート 基本情報 平面 縦断 横断 3D

福井コンピュータ株式会社



- 5 [座標参照系情報]をクリックします。
- 6 座標参照系情報を確認します。
- 7 確認を終了したら[未確認]のチェックをクリックします。

#### 4. 基準点及び工事基準点のチェック



8 [工事基準点情報]をクリックします。

9 No.1の基準点の情報を確認します。

10 確認を終了したら[確認]のチェックをクリックして、オンにします。



## 4. 基準点及び工事基準点のチェック

すべての基準点の[確認]のチェックをオンにすると、[確認済]になります。

| No | 測点名   | X座標        | Y座標        | Z座標       | 基準点の種類 | 注記 | 確認                                  |
|----|-------|------------|------------|-----------|--------|----|-------------------------------------|
| 4  | T-3   | -48.283000 | -83.099300 | -0.046000 | 4級基準点  |    | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 5  | T-3-1 | -48.075900 | -86.736400 | -0.058000 | 4級基準点  |    | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 6  | T-4   | -48.343800 | 83.692800  | -0.046000 | 4級基準点  |    | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 7  | T-4-1 | -48.217000 | 86.980600  | -0.055000 | 4級基準点  |    | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 8  | T-5   | -53.407000 | 0.008000   | 0.025000  | 4級基準点  |    | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 9  | T-6   | 0.000000   | -50.000000 | -0.001000 | 4級基準点  |    | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 10 | T-7   | 0.000000   | -99.000000 | 0.000000  | 4級基準点  |    | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 11 | T-8   | 0.000000   | -99.950000 | 0.000000  | 4級基準点  |    | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 12 |       |            |            |           |        |    | <input type="checkbox"/>            |



11 同様に他の基準点の情報の確認を行い、[確認]のチェックをクリックしてオンにします。

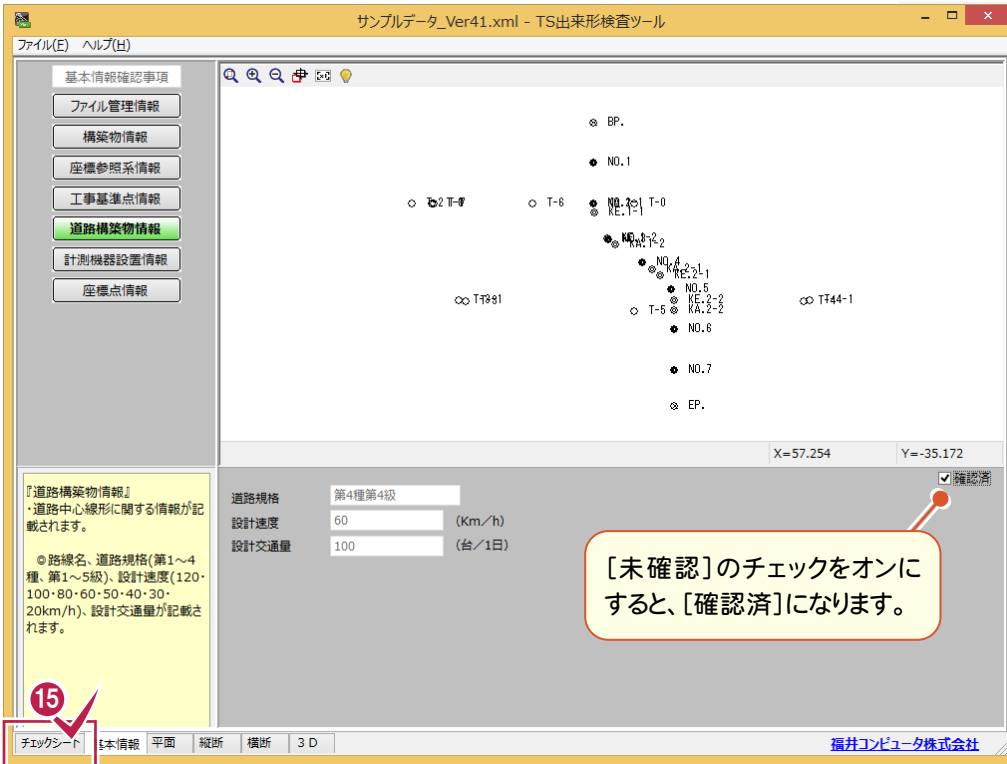
道路規格 第4種第4級  
設計速度 60 (Km/h)  
設計交通量 100 (台/1日)

12 [道路構築物情報]をクリックします。  
13 道路構築物情報を確認します。  
14 確認を終了したら[未確認]のチェックをクリックします。



12 [道路構築物情報]をクリックします。  
13 道路構築物情報を確認します。  
14 確認を終了したら[未確認]のチェックをクリックします。





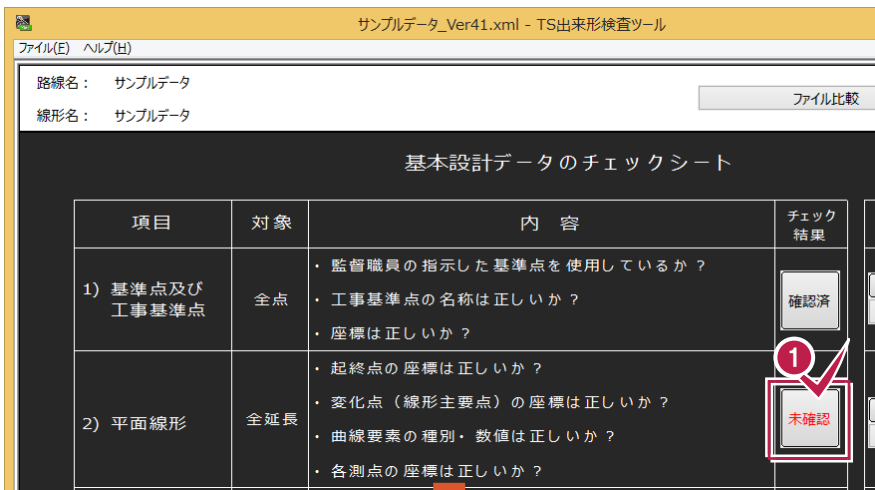
15 [チェックシート]をクリックします。



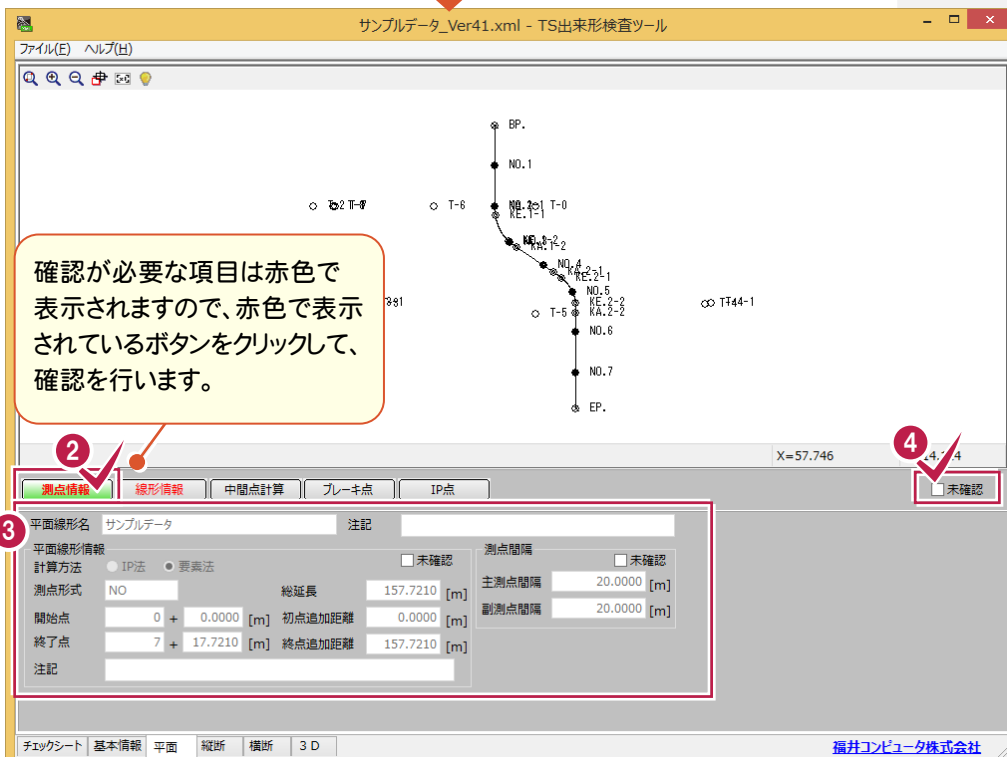
# 5 平面線形のチェック

平面線形をチェックします。

## 5-1 平面線形をチェックする



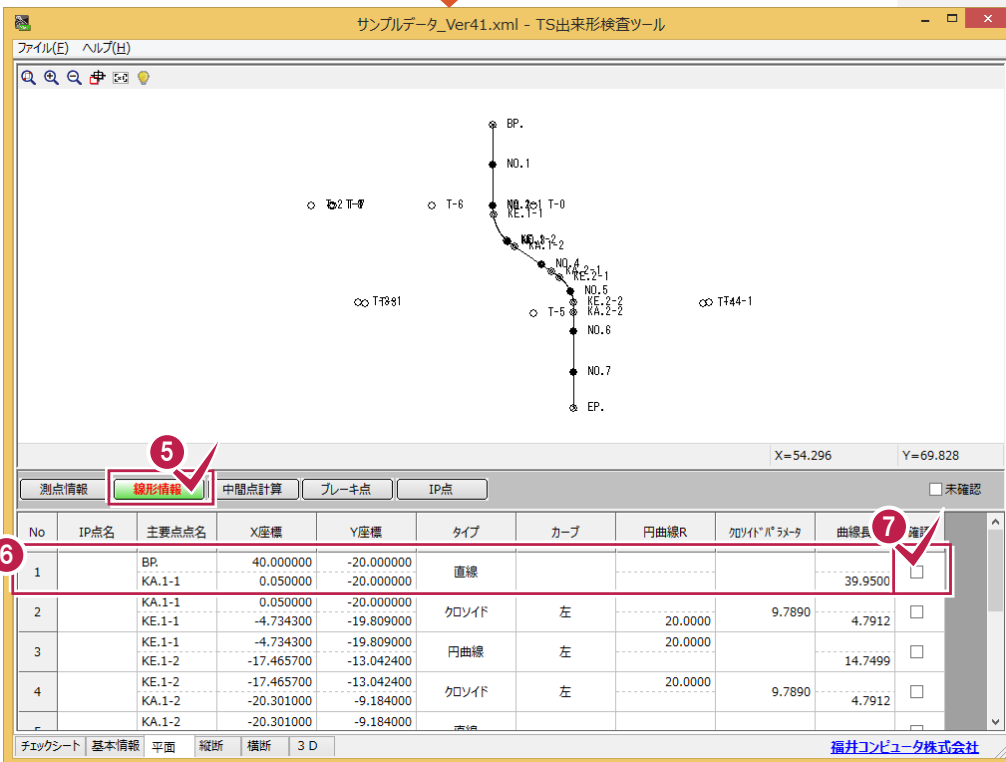
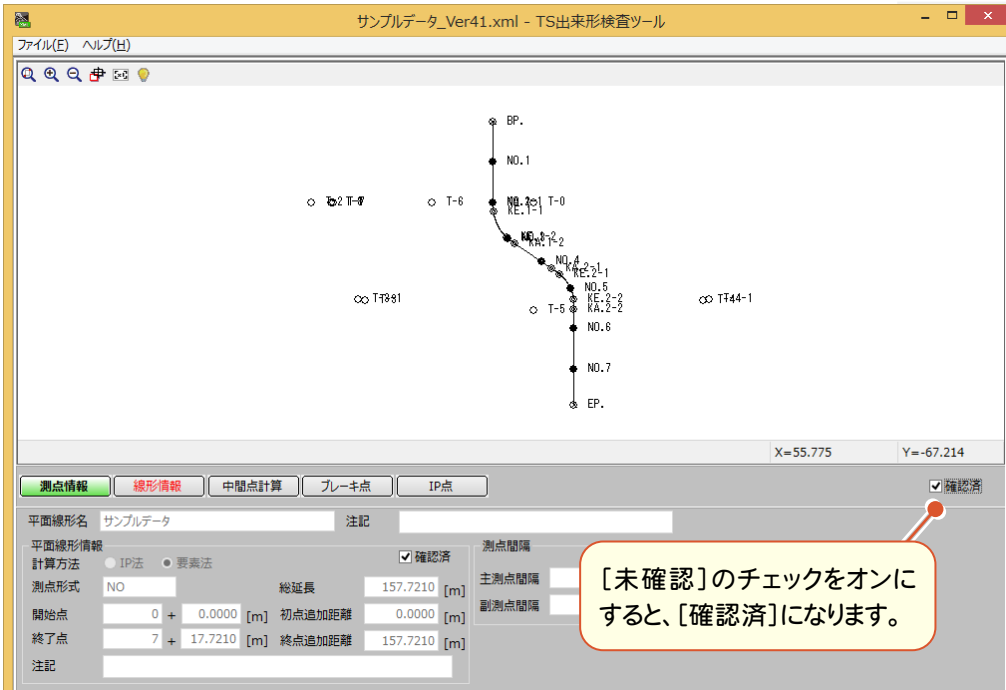
1 [2]平面線形]の[未確認]をクリックします。



2 [測点情報]をクリックします。

3 測点情報を確認します。

4 確認を終了したら[未確認]のチェックをクリックします。



- 5 [線形情報]をクリックします。
- 6 No.1の線形情報を確認します。
- 7 確認を終了したら[確認]のチェックをクリックして、オンにします。



## 5. 平面線形のチェック

すべての線形の[確認]のチェックをオンにすると、[確認済]になります。

| No | IP点名 | 主要点名             | X座標                       | Y座標                    | タイプ   | カーブ | 円曲線R    | 加付パラメータ | 曲線長     | 確認                                  |
|----|------|------------------|---------------------------|------------------------|-------|-----|---------|---------|---------|-------------------------------------|
| 6  |      | KA.2-1<br>KE.2-1 | -32.639000<br>-35.604500  | 9.095000<br>13.116300  | クロソイド | 右   | 20.0000 | 10.0000 | 5.0000  | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 7  |      | KE.2-1<br>KE.2-2 | -35.604500<br>-48.163800  | 13.116300<br>19.792000 | 円曲線   | 右   | 20.0000 |         | 14.5414 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 8  |      | KE.2-2<br>KA.2-2 | -48.163800<br>-53.156000  | 19.792000<br>20.000000 | クロソイド | 右   | 20.0000 | 10.0000 | 5.0000  | <input checked="" type="checkbox"/> |
|    |      | KA.2-2<br>EP.    | -53.156000<br>-100.000000 | 20.000000<br>20.000000 | 直線    |     |         |         | 46.8440 | <input checked="" type="checkbox"/> |



- 8 同様に他の線形の情報の確認を行い、[確認]のチェックをクリックしてオンにします。
- 9 [チェックシート]をクリックします。

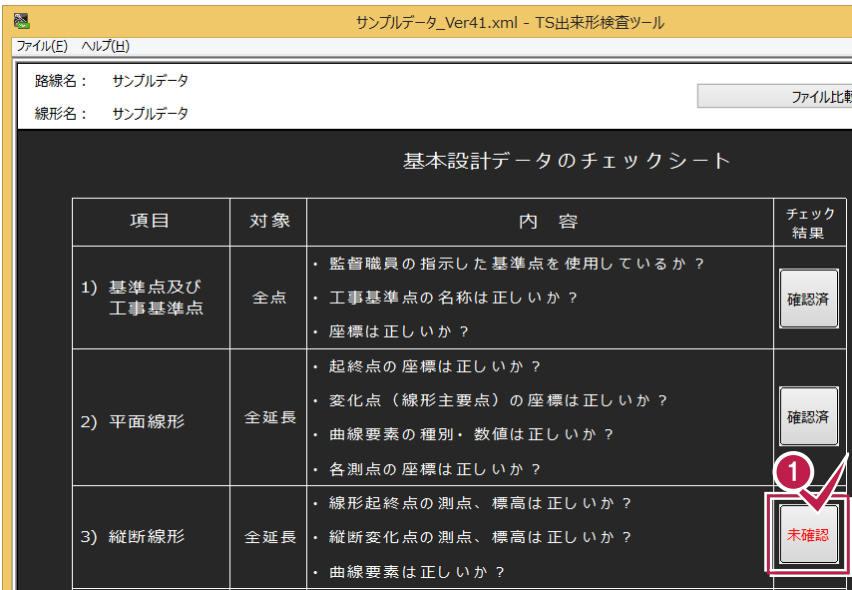
[平面線形]の確認をすべて終了すると、[確認済]になります。

| 項目                | 対象  | 内容                                                                              | チェック結果 | 参照<br>閲覧 |
|-------------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------|--------|----------|
| 1) 基準点及び<br>工事基準点 | 全点  | ・ 監督職員の指示した基準点を使用しているか？<br>・ 工事基準点の名称は正しいか？<br>・ 座標は正しいか？                       | 確認済    | 参照<br>閲覧 |
| 2) 平面線形           | 全延長 | ・ 起終点の座標は正しいか？<br>・ 変化点（線形主要点）の座標は正しいか？<br>・ 曲線要素の種別・数値は正しいか？<br>・ 各測点の座標は正しいか？ | 確認済    | 参照<br>閲覧 |
| 3) 縦断線形           | 全延長 | ・ 線形起終点の測点、標高は正しいか？<br>・ 縦断変化点の測点、標高は正しいか？<br>・ 曲線要素は正しいか？                      | 未確認    | 参照<br>閲覧 |
| 4) 出来形<br>横断面形状   | 全延長 | ・ 作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か？<br>・ 基準高、幅、法長は正しいか？<br>・ 出来形計測対象点の記号が正しく付与できているか？      | 未確認    | 参照<br>閲覧 |

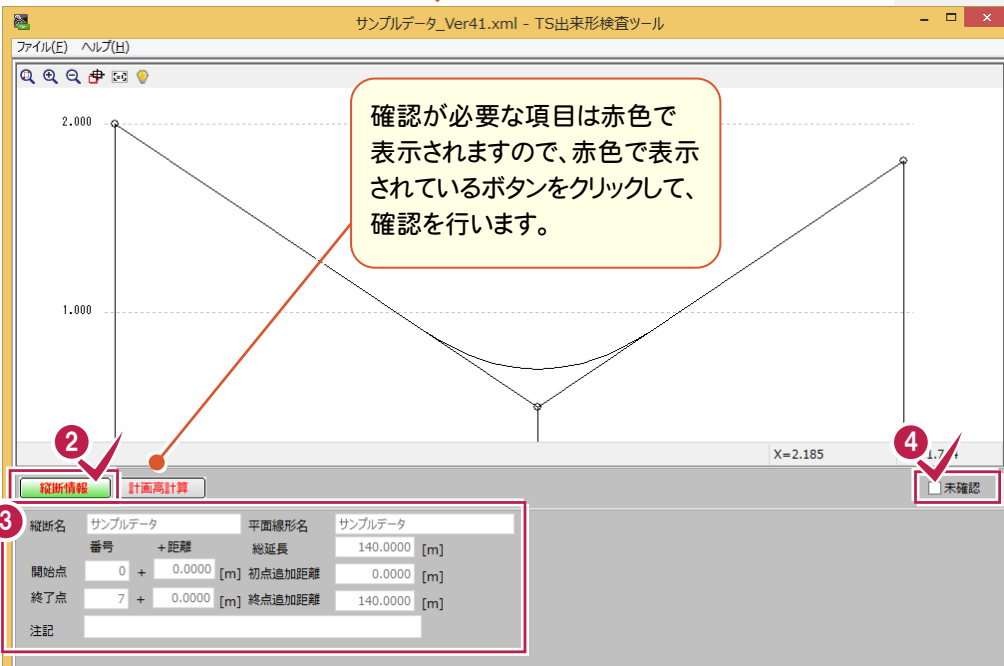
# 6 縦断線形のチェック

縦断線形をチェックします。

## 6-1 縦断線形をチェックする



1 [3] 縦断線形]の[未確認]をクリックします。

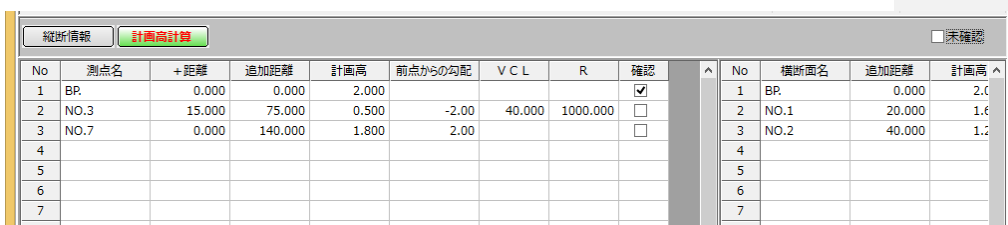
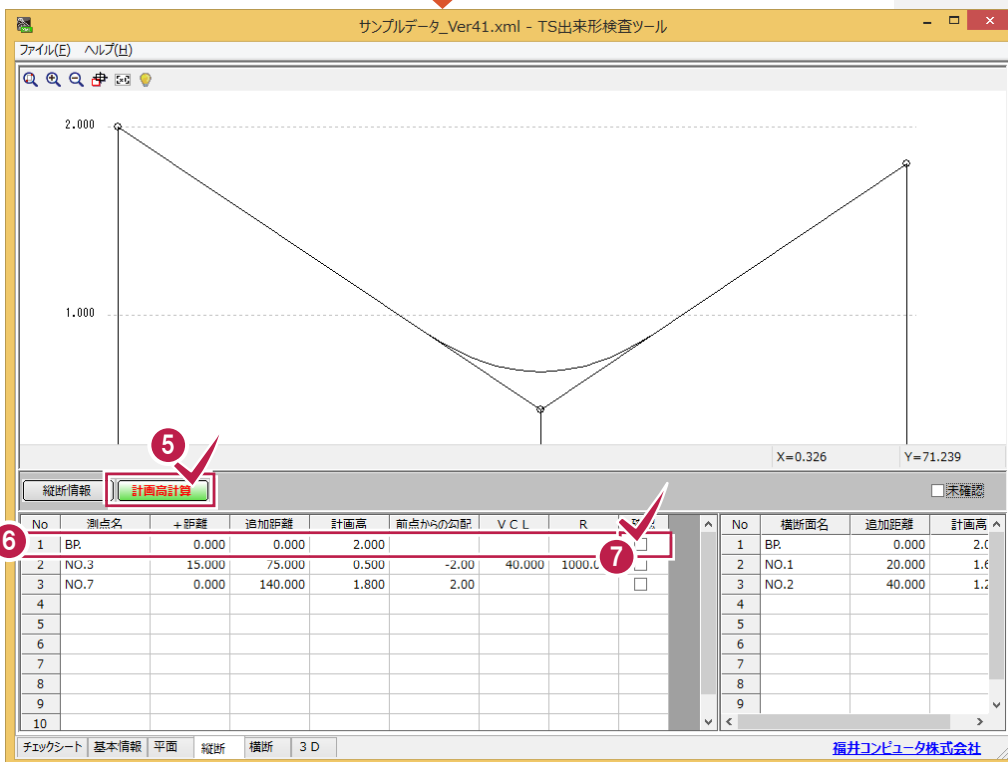
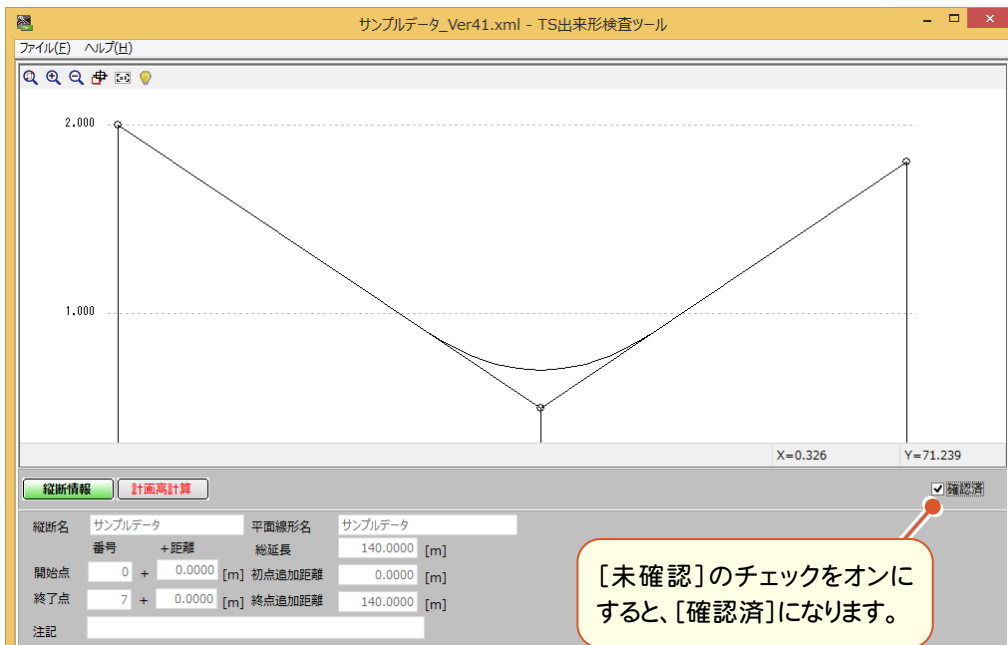


2 [縦断情報]をクリックします。

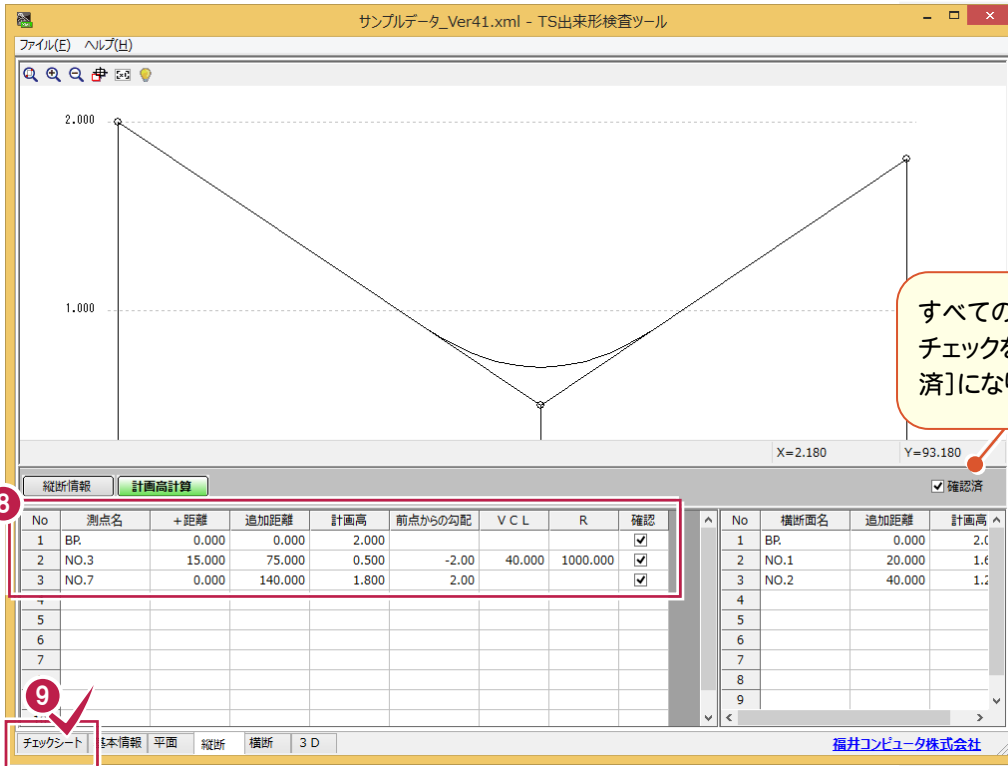
3 縦断情報を確認します。

4 確認を終了したら[未確認]のチェックをクリックします。

6. 縦断線形のチェック



- 5 [計画高計算]をクリックします。
- 6 No.1の測点の計画高を確認します。
- 7 確認を終了したら[確認]のチェックをクリックして、オンにします。



すべての基準点の[確認]のチェックをオンにすると、[確認済]になります。

8 同様に他の測点の計画高の確認を行い、[確認]のチェックをクリックしてオンにします。

9 [チェックシート]をクリックします。



| 項目            | 対象  | 内容                                                                                                                                                  | チェック結果 | 参照閲覧     |
|---------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------|
| 1) 基準点及び工事基準点 | 全点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監督職員の指示した基準点を使用しているか？</li> <li>・ 工事基準点の名称は正しいか？</li> <li>・ 座標は正しいか？</li> </ul>                             | 確認済    | 参照<br>閲覧 |
| 2) 平面線形       | 全延長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起終点の座標は正しいか？</li> <li>・ 変化点（線形主要点）の座標は正しいか？</li> <li>・ 曲線要素の種別・数値は正しいか？</li> <li>・ 各測点の座標は正しいか？</li> </ul> | 確認済    | 参照<br>閲覧 |
| 3) 縦断線形       | 全延長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 線形起終点の測点、標高は正しいか？</li> <li>・ 縦断変化点の測点、標高は正しいか？</li> <li>・ 曲線要素は正しいか？</li> </ul>                            | 確認済    | 参照<br>閲覧 |
| 4) 出来形横断面形状   | 全延長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か？</li> <li>・ 基準高、幅、法長は正しいか？</li> <li>・ 出来形計測対象点の記号が正しく付与できているか？</li> </ul>            | 未確認    | 参照<br>閲覧 |

[縦断線形]の確認をすべて終了すると、[確認済]になります。

# 7 出来形横断面形状のチェック

出来形横断面形状、工種、出来形管理箇所をチェックします。

## 7-1 出来形横断面形状をチェックする

サンプルデータ\_Ver41.xml - TS出来形検査ツール

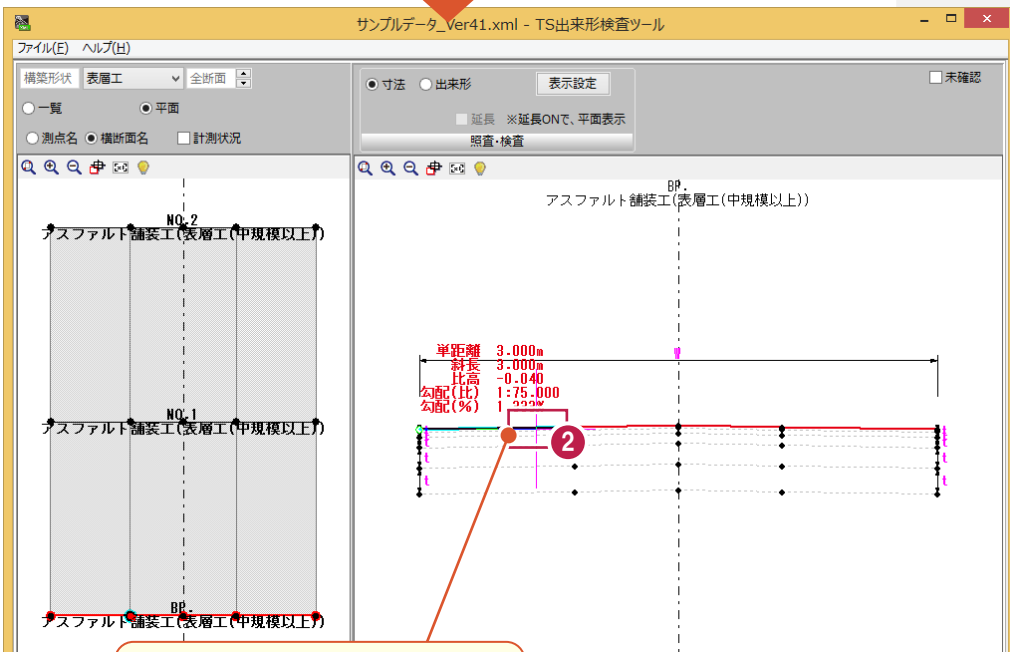
路線名: サンプルデータ      ファイル比較

線形名: サンプルデータ

基本設計データのチェックシート

| 項目            | 対象  | 内容                                                                                                                                          | チェック結果 |
|---------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 1) 基準点及び工事基準点 | 全点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>監督職員の指示した基準点を使用しているか？</li> <li>工事基準点の名称は正しいか？</li> <li>座標は正しいか？</li> </ul>                           | 確認済    |
| 2) 平面線形       | 全延長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>起終点の座標は正しいか？</li> <li>変化点（線形主要点）の座標は正しいか？</li> <li>曲線要素の種別・数値は正しいか？</li> <li>各測点の座標は正しいか？</li> </ul> | 確認済    |
| 3) 縦断線形       | 全延長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>線形起終点の測点、標高は正しいか？</li> <li>縦断変化点の測点、標高は正しいか？</li> <li>曲線要素は正しいか？</li> </ul>                          | 確認済    |
| 4) 出来形横断面形状   | 全延長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か？</li> <li>基準高、幅、法長は正しいか？</li> <li>出来形計測対象点の記号が正しく付与できているか？</li> </ul>          | 未確認    |

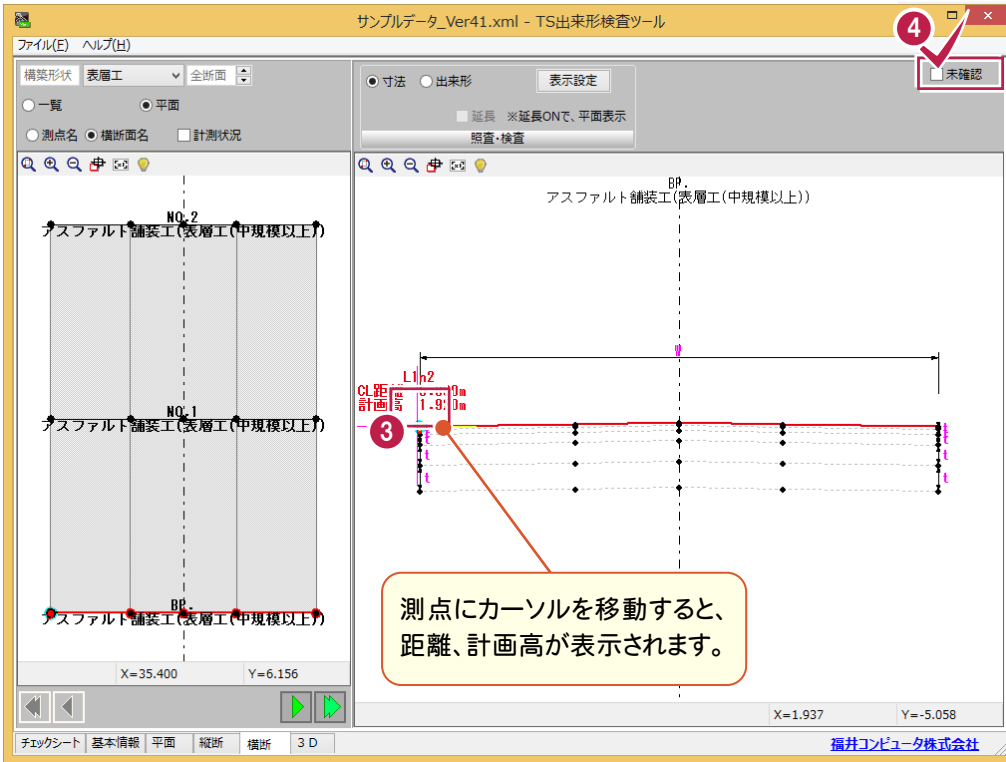
1 [4] 出来形横断面形状の [未確認] をクリックします。



横断面形状にカーソルを移動すると、横断面形状の単距離、斜長、比高、勾配が表示されます。

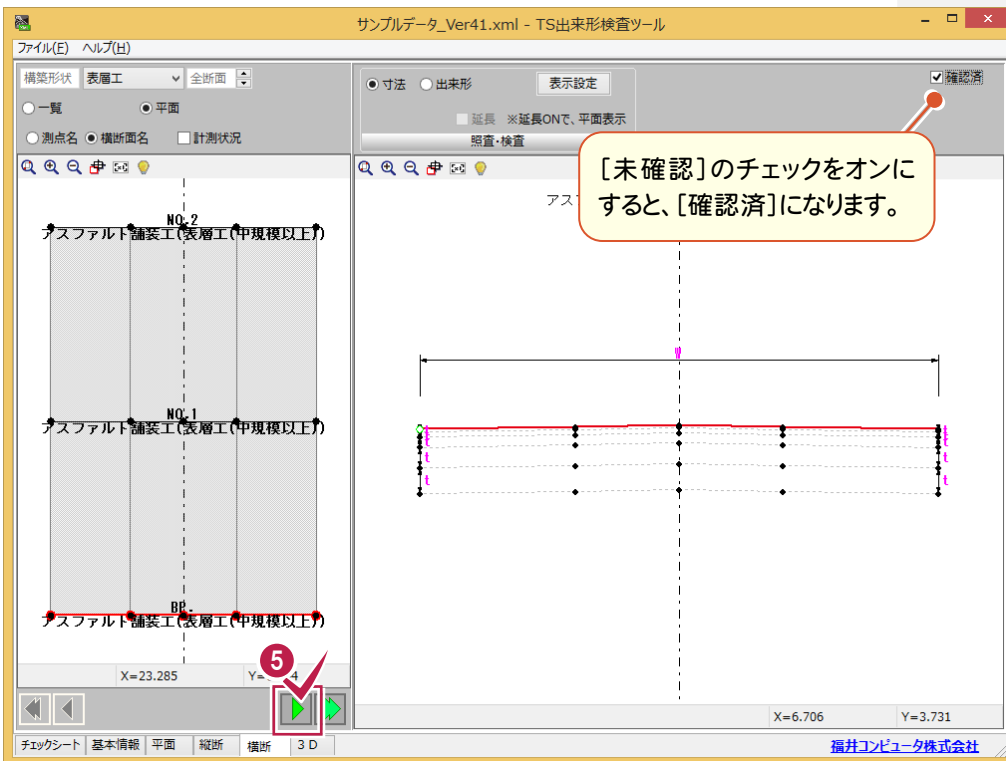
2 横断面形状にカーソルを移動して横断面形状の単距離、斜長、比高、勾配を確認します。





3 測点にカーソルを移動して、距離、計画高を確認します。

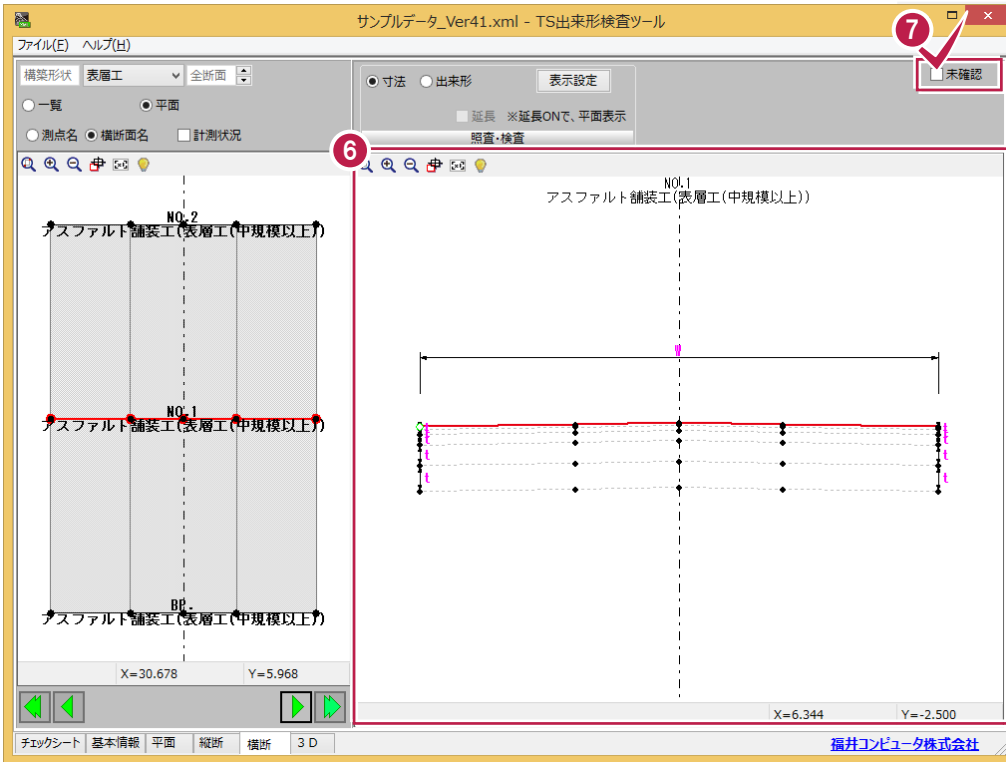
4 確認を終了したら、[未確認]のチェックをクリックします。



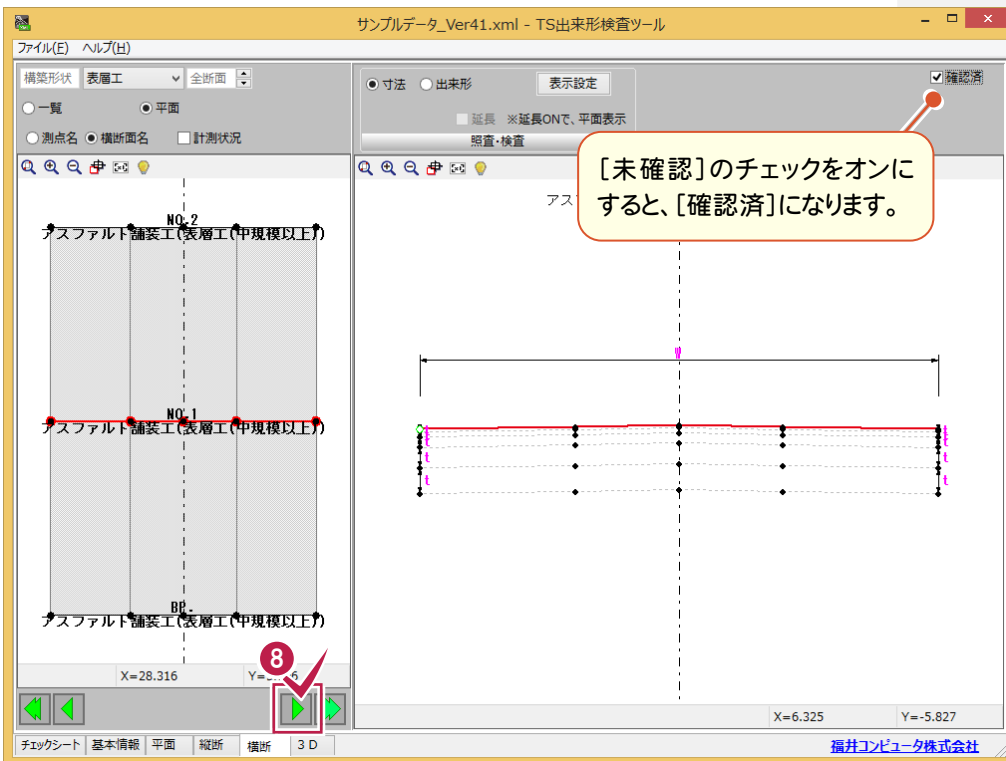
5 1つ目の断面の確認を終了したら、[次の断面]のボタンをクリックします。



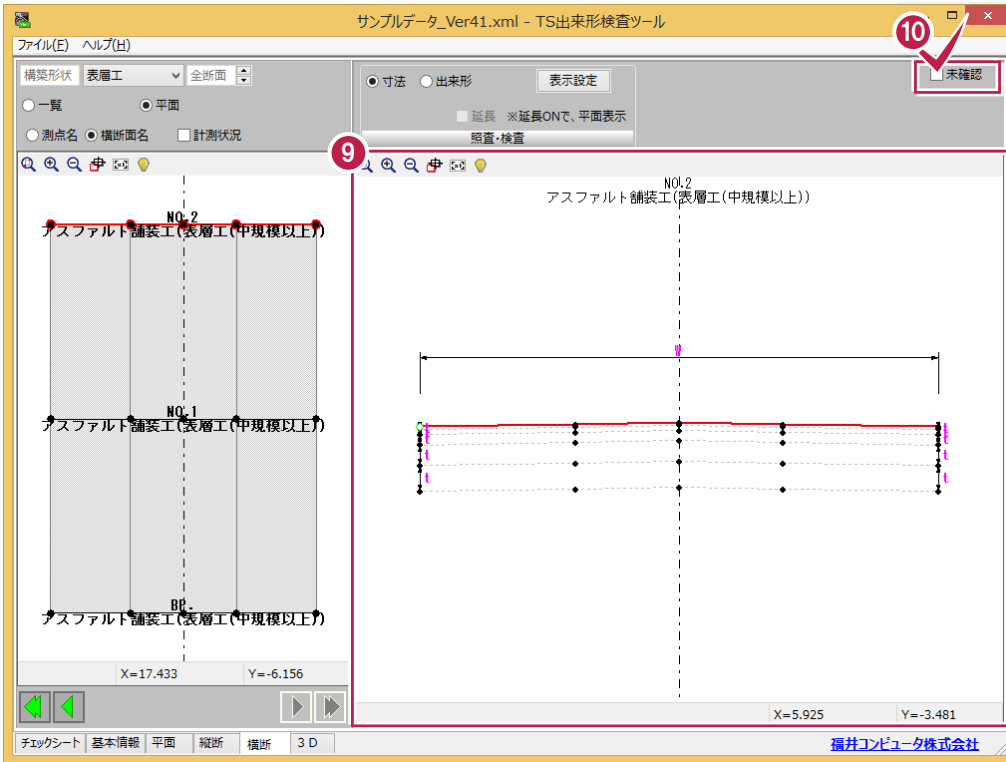
7. 出来形横断面形状のチェック



- 6** ②③の操作を行い、2つ目の断面の横断面形状、測点の情報を確認します。
- 7** 確認を終了したら、[未確認]のチェックをクリックします。

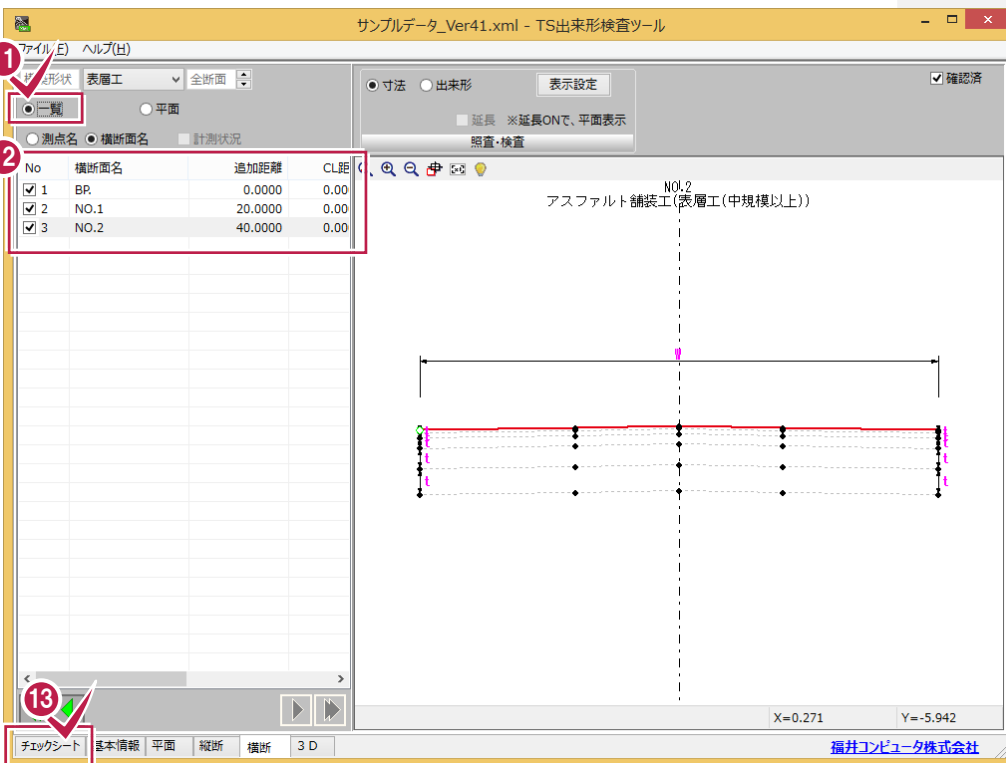


- 8** 2つ目の断面の確認を終了したら、[次の断面]のボタンをクリックします。



9 ②③の操作を行い、3つ目の断面の横断面形状、測点の情報を確認します。

10 確認を終了したら、「未確認」のチェックをクリックします。



11 「一覧」をクリックします。

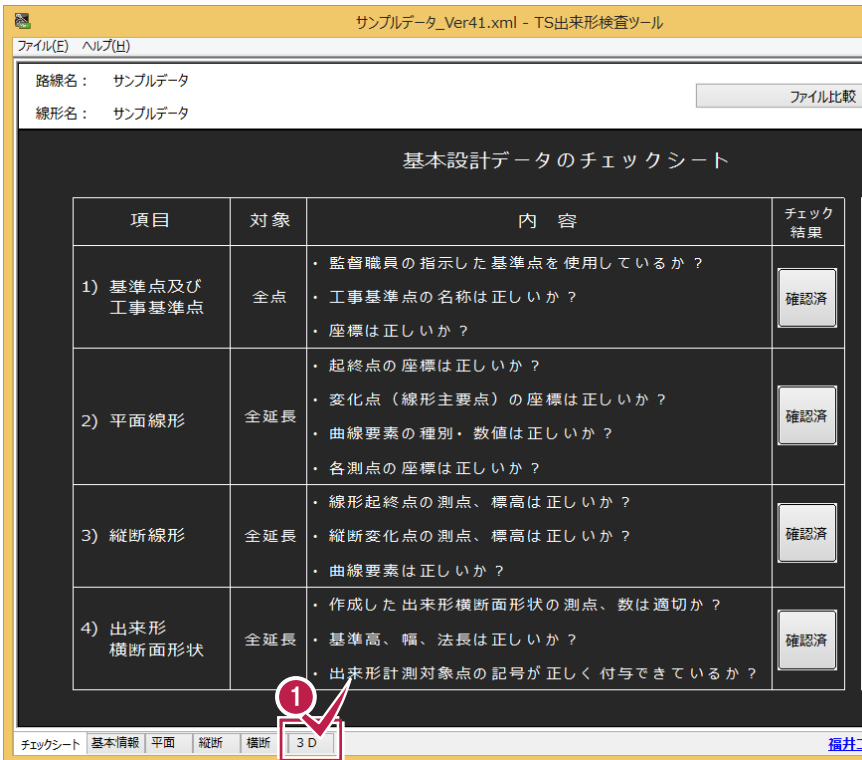
12 すべての断面のチェックがオンになっていることを確認します。

13 「チェックシート」をクリックします。

# 8 3D形状でのデータチェック

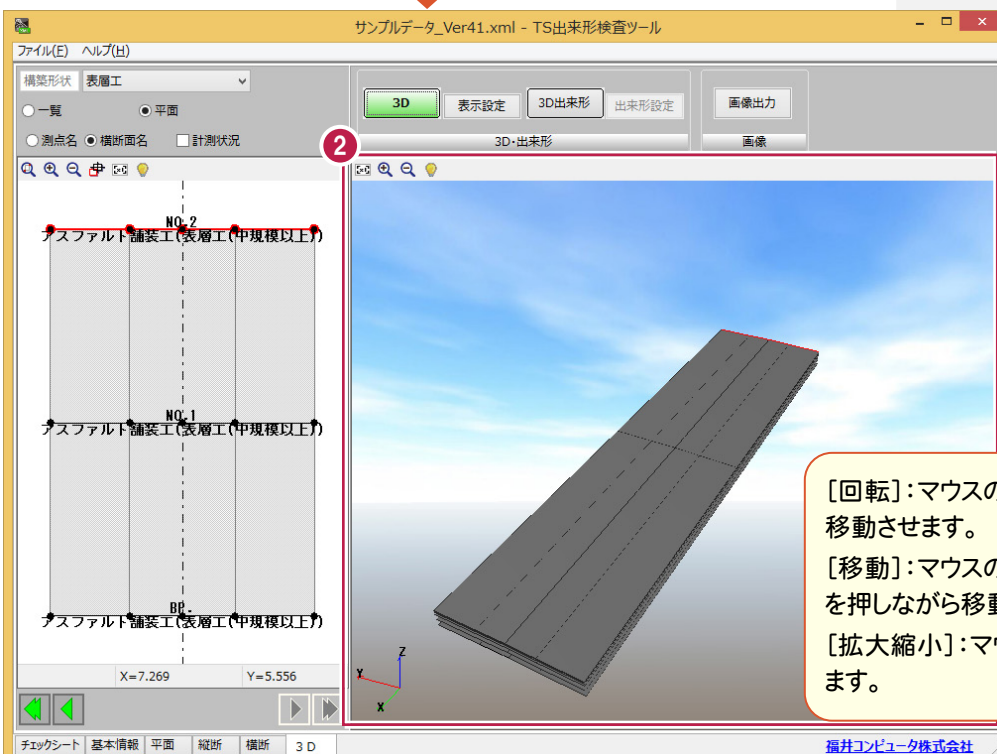
3D形状で、データの状態をチェックします。

## 8-1 3D形状でデータの状態をチェックする



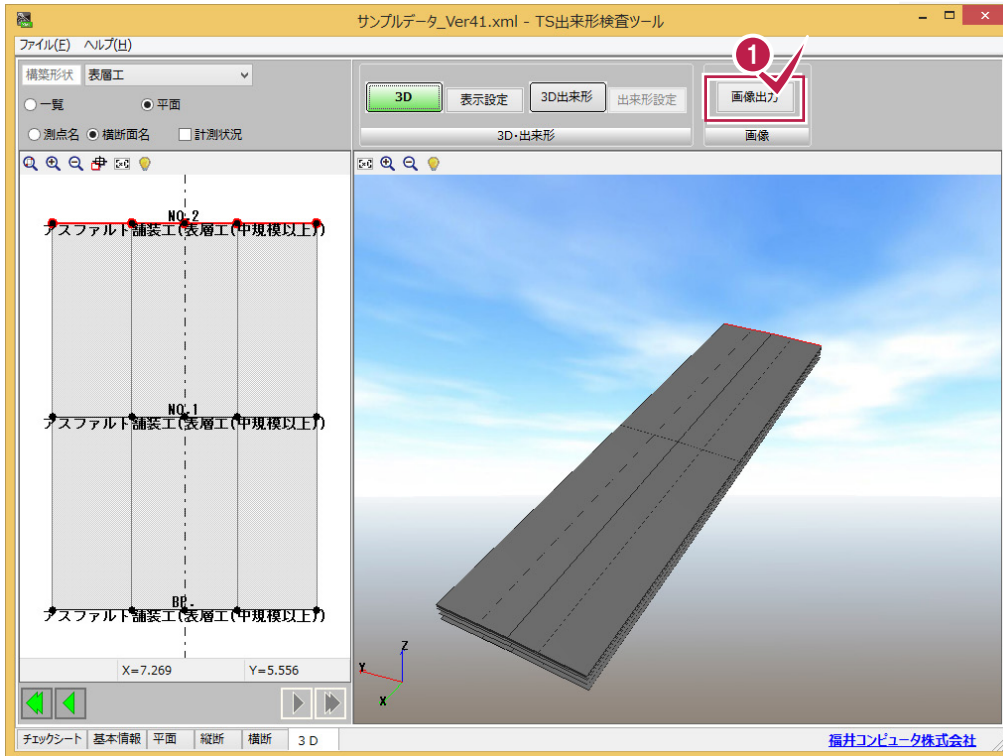
1 [3D]をクリックします。

2 3D形状で、回転、移動、拡大縮小して、データの状態をチェックします。



## 8-2 3Dの画像を出力する

3Dの画像を出力します。



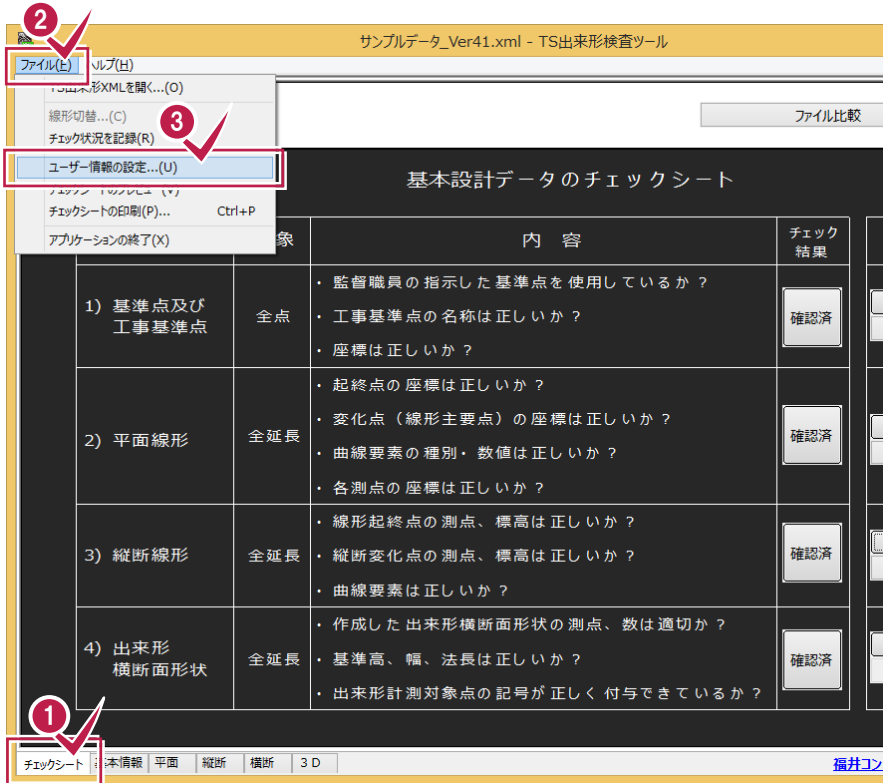
- 1 [画像出力]をクリックします。
- 2 ファイルの保存場所を指定します。
- 3 ファイル名を入力します。
- 4 [保存]をクリックします。

# 9 チェックシートの印刷

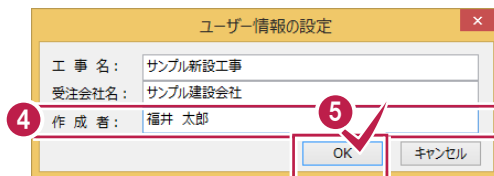
発注者へ提出するチェックシートを印刷します。

## 9-1 ユーザー情報を設定する

ユーザー情報を設定します。



- 1 [チェックシート]をクリックします。
- 2 [ファイル]をクリックします。
- 3 [ユーザー情報の設定]をクリックします。



- 4 ここでは、作者名を入力します。
- 5 [OK]をクリックします。

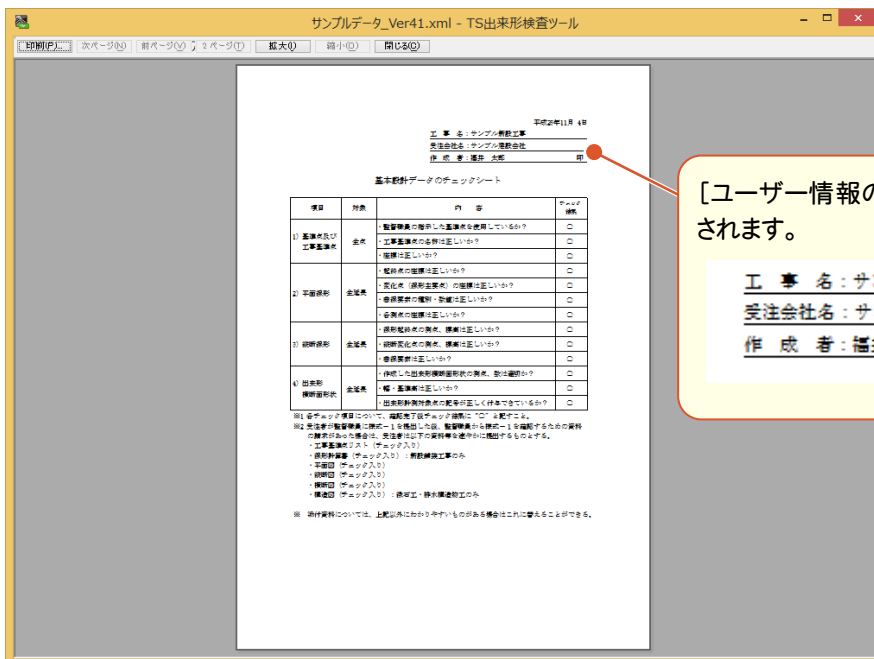
## 9-2 チェックシートをプレビューする

チェックシートをプレビューして確認します。



1 [ファイル]をクリックします。

2 [チェックシートのプレビュー]をクリックします。



[ユーザー情報の設定]で設定した内容が表示されます。

工事名: サンプル新設工事

受注会社名: サンプル建設会社

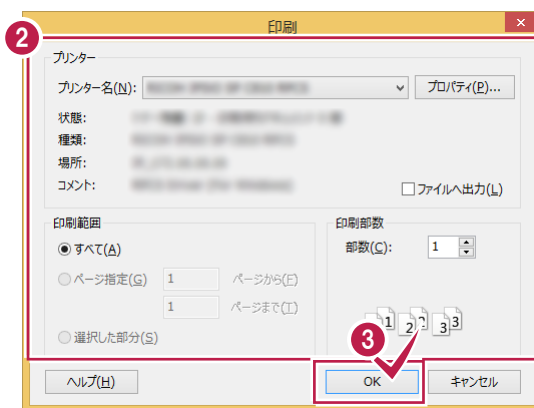
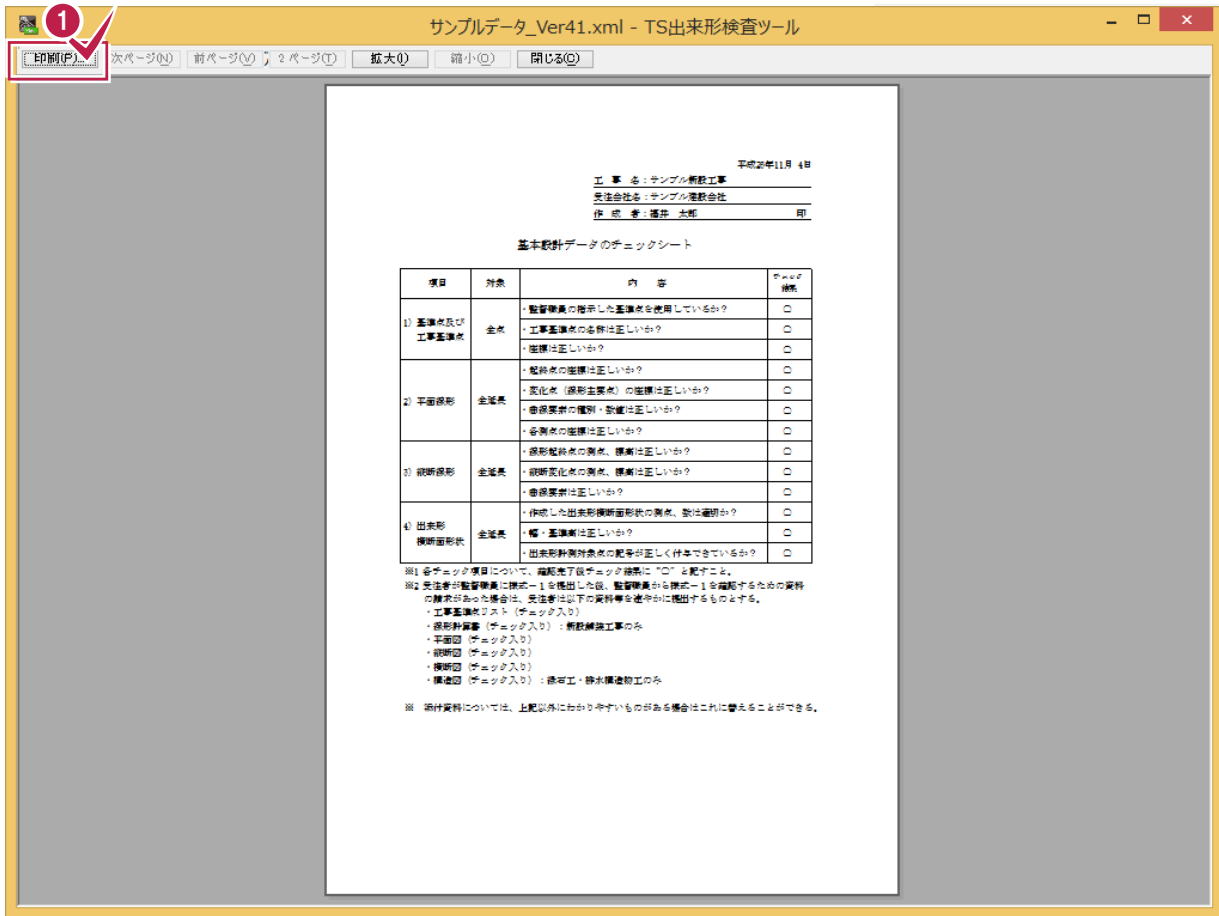
作成者: 福井 太郎

印

# 9-3

## チェックシートを印刷する

チェックシートを印刷します。



1 [印刷]をクリックします。

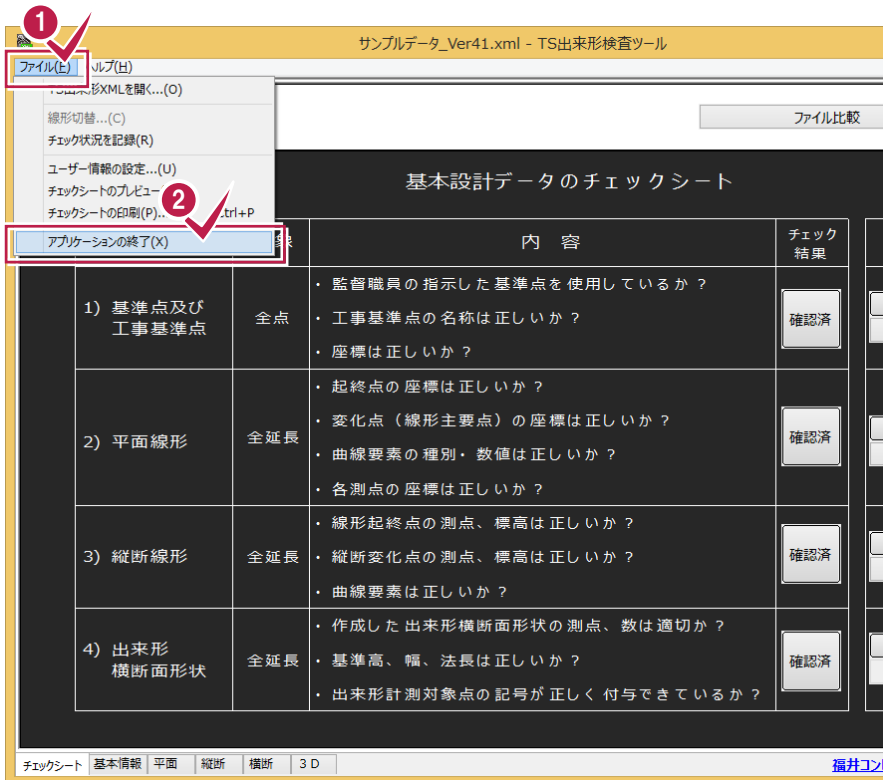
2 プリンターなどを設定します。

3 [OK]をクリックします。



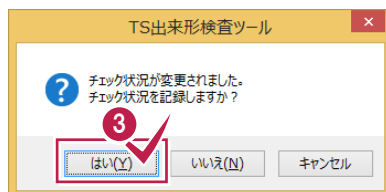
## 9-4 TS出来形検査ツールを終了する

TS出来形検査ツールを終了します。チェック状況を記録しておくこともできます。



1 [ファイル]をクリックします。

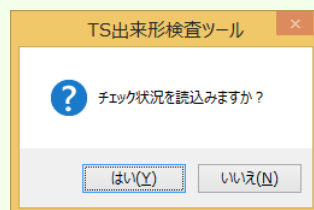
2 [アプリケーションの終了]をクリックします。



3 チェック状況を記録するときは [はい]をクリックします。



チェック状況を記録しておくと、再開時に以下のメッセージが表示されます。  
[はい]をクリックすると、前回の続きからチェックすることができます。





# 計測データの確認



計測データを確認してみましよう。

**1** 計測データの確認

---

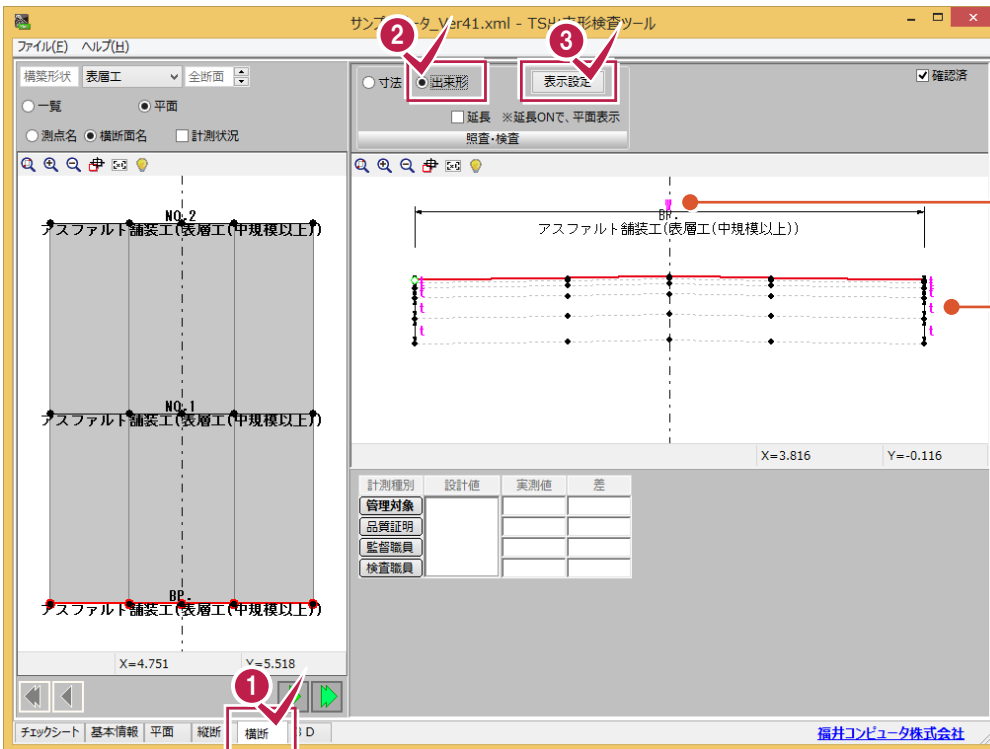
**2** 3D形状でのデータチェック

---

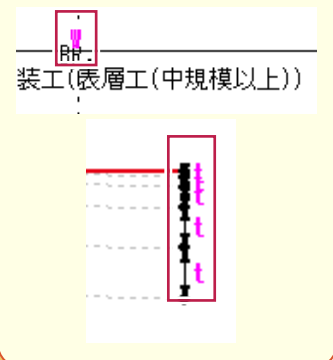
# 1 計測データの確認

出来形表で、各計測データを種別ごとに確認します。

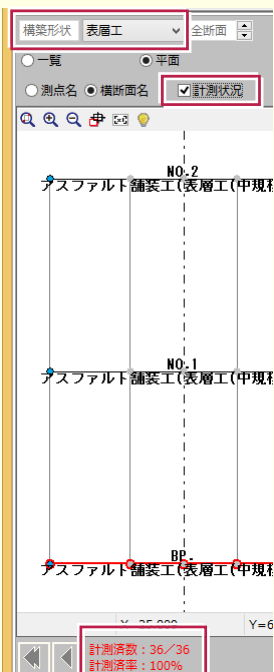
## 1-1 出来形表で、各計測データを種別ごとに確認する



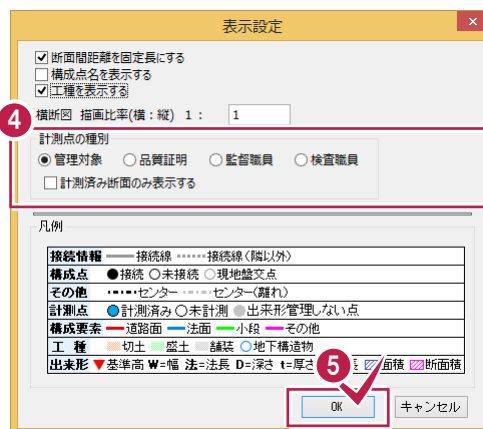
計測されている場合は、マゼンタ(赤紫)色で表示されます。



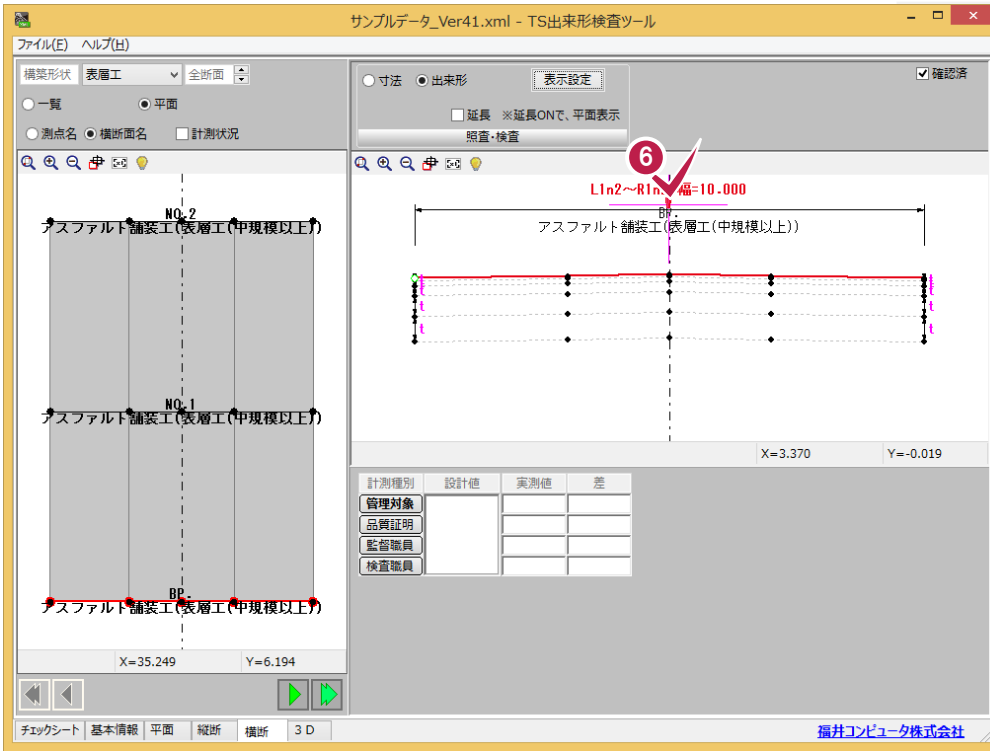
[計測状況]のチェックをオンにすると、指定した構築形状の計測状況が表示されます。



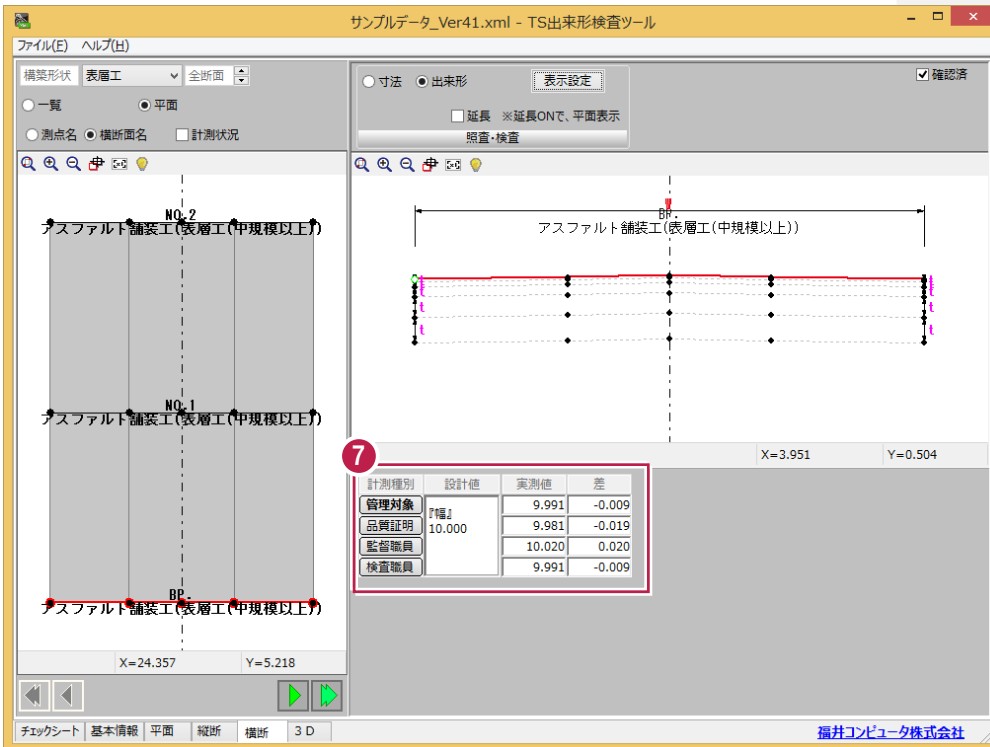
計測済数: 36 / 36  
計測済率: 100%



- 1 [横断]をクリックします。
- 2 [出来形]をクリックします。
- 3 [表示設定]をクリックします。
- 4 計測点の測定者の表示を設定します。  
計測点の種別で設定した断面のみ表示するとき、[計測済みの断面のみ表示する]のチェックをオンにします。
- 5 [OK]をクリックします。



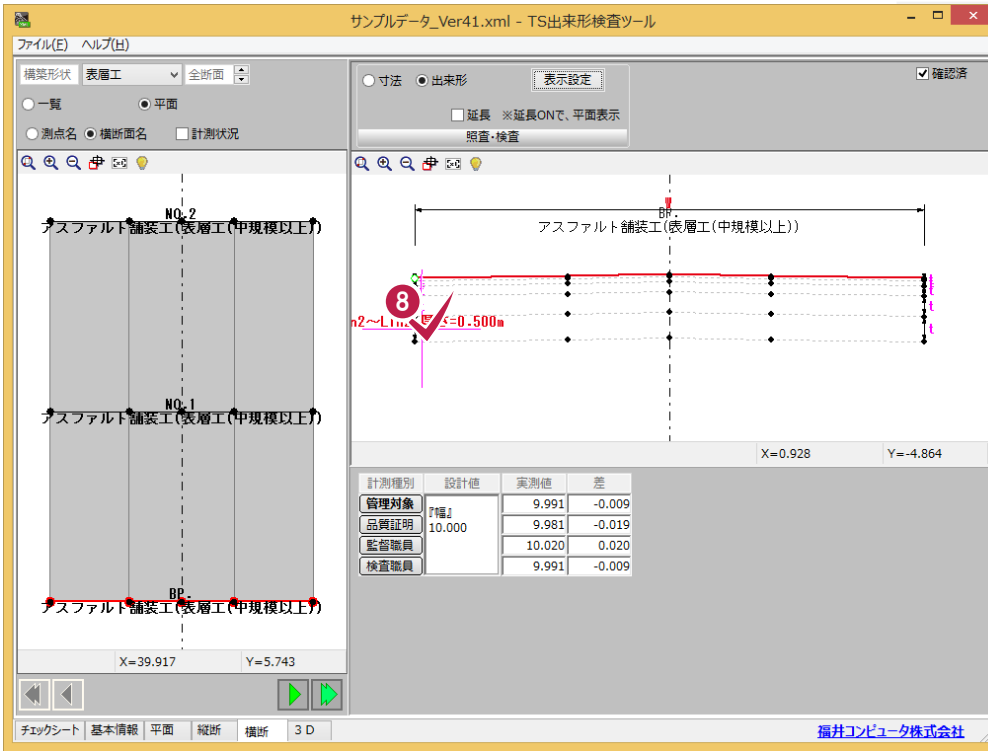
6 計測データ(ここではw)をクリックします。



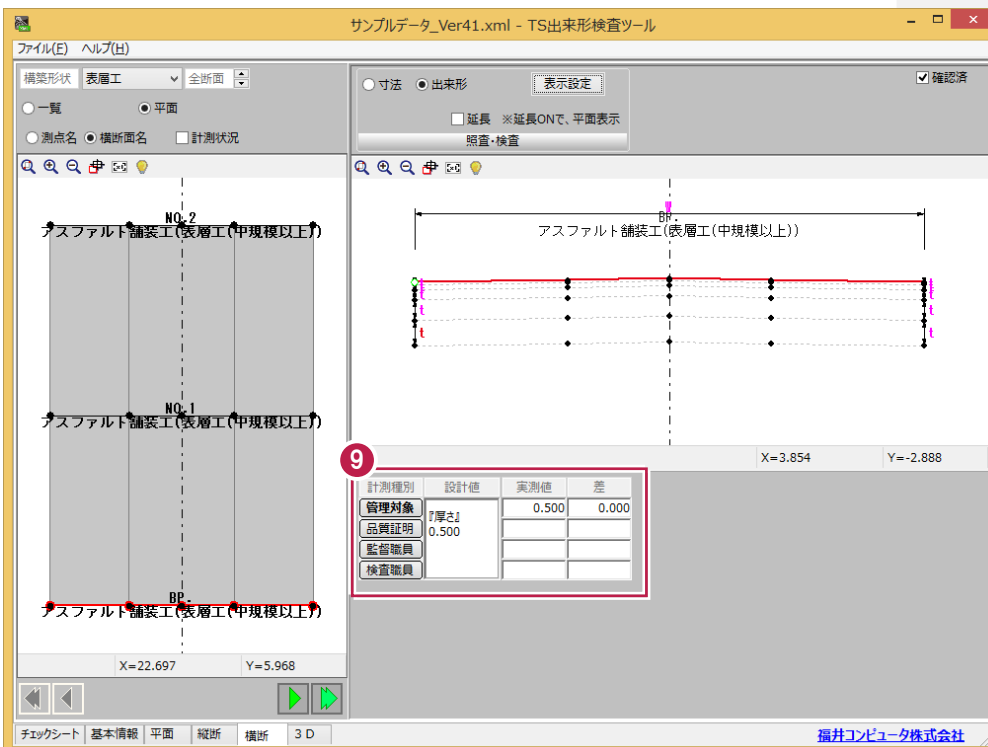
7 計測データの種別ごとの設計値、実測値、差を確認します。



1. 計測データの確認

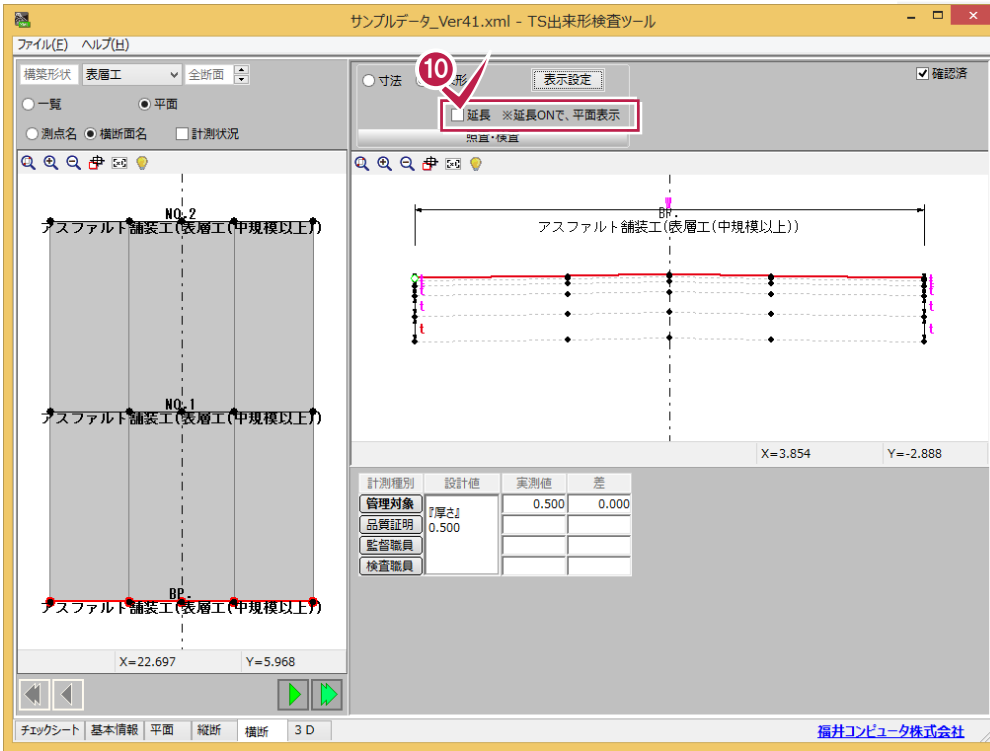


8 別の計測データ(ここではt)をクリックします。

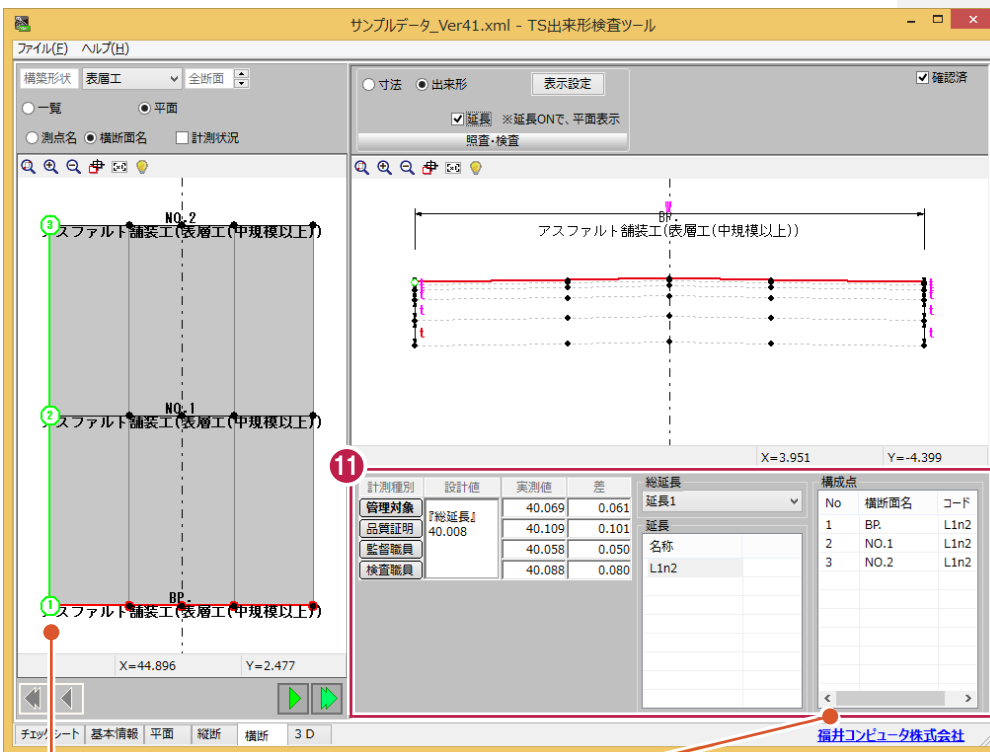


9 計測データの種別ごとの設計値、実測値、差を確認します。





10 [延長]のチェックをクリックして、オンにします。



平面表示に構成点のNoが表示されます。

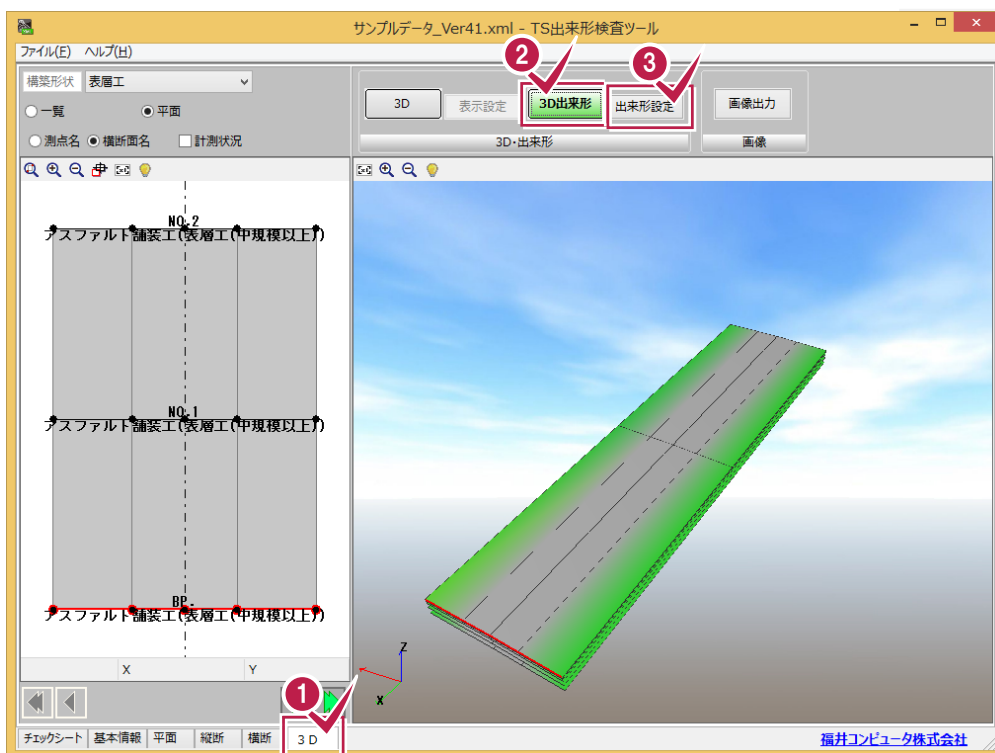
11 延長の種別ごとの設計値、実測値、差、名称、構成点などを確認します。

12 断面を切り替えて、すべての断面の計測データのチェックを行います。

# 2 3D形状でのデータチェック

各構成点の設計と実測の差をグラデーションで表示します。

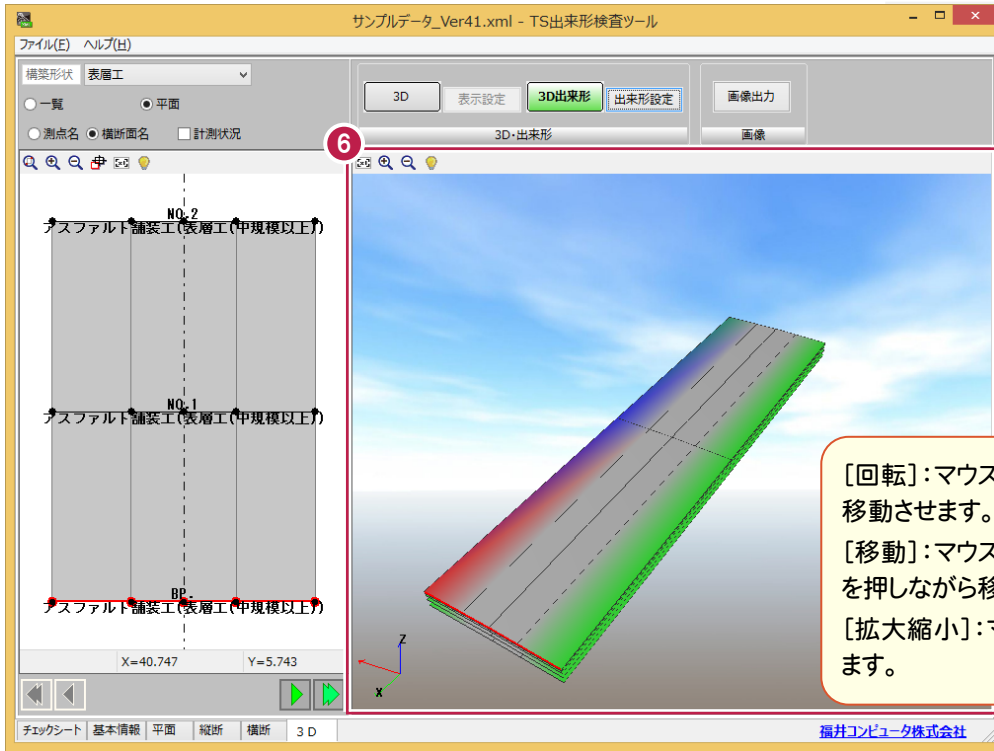
## 2-1 3D形状でデータの状態をチェックする



- 1 [3D]をクリックします。
- 2 [3D出来形]をクリックします。
- 3 [出来形設定]をクリックします。
- 4 出来形の表示について設定します。  
ここでは上限値を変更します。
- 5 [OK]をクリックします。





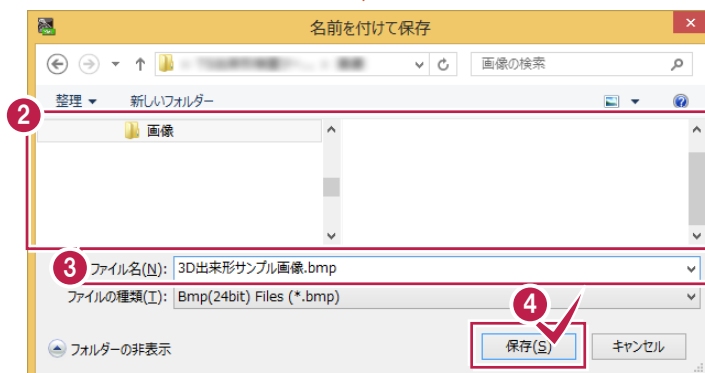


[回転]: マウスの左ボタンを押しながら移動させます。  
 [移動]: マウスの中ボタンまたは右ボタンを押しながら移動させます。  
 [拡大縮小]: マウスホイールを回転させます。

- 6 3D形状で、回転、移動、拡大縮小して、データの状態をチェックします。

## 2-2 3Dの画像を出力する

3Dの画像を出力します。



- 1 [画像出力]をクリックします。

- 2 ファイルの保存場所を指定します。  
 3 ファイル名を入力します。  
 4 [保存]をクリックします。